



show コマンド

この章では、Cisco NX-OS システム管理用の各種 **show** コマンドについて説明します。

show callhome

Call Home アプリケーションに関する情報を表示するには、**show callhome** コマンドを使用します。

```
show callhome {destination-profile [profile profile_name] | last action status | last merge status
| merge status | pending | pending-diff | session status | status | transport-email |
user-def-cmds}
```

構文の説明

destination-profile	宛先プロファイルの名前を表示します。
profile	(任意) デフォルトのプロファイル名を表示します。
<i>profile_name</i>	プロファイルの名前。名前は、デフォルトのプロファイル名にすることも、ユーザが作成したプロファイルを指定することもできます。
last action status	最後の Cisco Fabric Services (CFS) のコミットまたは中止操作のステータスを表示します。
last merge status	Call Home の最後の CFS 結合操作のステータスを表示します。
merge status	Call Home の最後の CFS 結合操作のステータスを表示します。
pending	保留中の CFS データベースの Call Home 設定変更を表示します。
pending-diff	保留中の Call Home 設定と実行中の Call Home 設定の違いを表示します。これらの違いは、現在の CFS 設定セッション中に変更された内容を反映します。
session status	Call Home コンフィギュレーションの最後の CFS コミット/中止操作のステータスを表示します。
status	Call Home の CFS 配信状態 (イネーブルまたはディセーブル) を表示します。
transport-email	Call Home の E メール転送設定を表示します。
user-def-cmds	各 Call Home アラート グループに設定された CLI コマンドを表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、Call Home アプリケーションの最後の CFS 操作のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show callhome last action status
```

```

Last Action Time Stamp      : None
Last Action                 : None
Last Action Result         : None
Last Action Failure Reason : none

```

次に、Noc101 という名前の Call Home 宛先プロファイルを表示する例を示します。

```
switch# show callhome destination-profile profile Noc101
```

```

Noc101 destination profile information
maximum message size:2500000
message format:XML
message-level:0
email addresses configured:

alert groups configured:
all

```

次に、Call Home コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```

switch# show callhome
callhome enabled
Callhome Information:
contact person name(sysContact):who@where
contact person's email:someone@noc.com
contact person's phone number:+1-408-555-9918
street addr:425 E Street, Anytown, CA 95999
site id:8
customer id:987654
contract id:456789
switch priority:7
duplicate message throttling : enabled
periodic inventory : enabled
periodic inventory time-period : 7 days
periodic inventory timeofday : 08:00 (HH:MM)
Distribution : Enabled

```

関連コマンド

コマンド	説明
callhome test	設定されたすべての宛先にテストメッセージを送信します。
callhome send	設定されたすべての宛先に指定の Call Home テストメッセージを送信します。
callhome	CLI Call Home コンフィギュレーション モードを開始します。
show cfs status	デバイスでの CFS 配信のステータスと IP 配信情報を表示します。
show tech-support cfs	CFS の問題解決時にテクニカルサポートが必要とする CFS コンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show logging level cfs	CFS ログのコンフィギュレーションを表示します。

show callhome transport

Call Home の転送に関する設定を表示するには、**show callhome transport** コマンドを使用します。

show callhome transport

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、Call Home の転送に関する設定を表示する例を示します。

```
switch(config)# show callhome transport
http vrf:default

from email addr:person@company.com
reply to email addr:person@company.com

smtp server:10.1.1.174
smtp server port:25
smtp server vrf:
smtp server priority:0

smtp server:64.72.101.213
smtp server port:25
smtp server vrf:default
smtp server priority:60

smtp server:172.21.34.193
smtp server port:25
smtp server vrf:default
smtp server priority:50

smtp server:192.0.2.1
smtp server port:33
smtp server vrf:Neo
smtp server priority:1
```

```
smtp server:192.0.2.10
smtp server port:25
smtp server vrf:default
smtp server priority:4
```

```
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show callhome	Call Home のコンフィギュレーションを表示します。

show cdp

Cisco Discovery Protocol (CDP) がイネーブルになっているインターフェイスを表示するには、**show cdp** コマンドを使用します。

```
show cdp {all | entry {all | name name} | global | interface interface-type | traffic interface
interface-type}
```

構文の説明

all	CDP データベースのすべてのインターフェイスを表示します。
entry	データベース内の CDP エントリを表示します。
name name	名前に一致する特定の CDP エントリを表示します。
global	CDP グローバル パラメータを表示します。
interface interface-type	インターフェイスの CDP パラメータを表示します。
traffic interface-type	CDP トラフィックの統計情報を表示します。
interface-type	インターフェイスのタイプ。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、CDP がイネーブルになっているインターフェイスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show cdp all
mgmt0 is up
  CDP enabled on interface
  Refresh time is 60 seconds
  Hold time is 30 seconds
Ethernet7/1 is down
  CDP enabled on interface
  Refresh time is 60 seconds
  Hold time is 30 seconds
Ethernet7/2 is down
  CDP enabled on interface
  Refresh time is 60 seconds
```

```
Hold time is 30 seconds
Ethernet7/3 is down
  CDP enabled on interface
  Refresh time is 60 seconds
  Hold time is 30 seconds
Ethernet7/4 is down
  CDP enabled on interface
  Refresh time is 60 seconds
  Hold time is 30 seconds
Ethernet7/5 is down
  CDP enabled on interface
  Refresh time is 60 seconds
--More--
```

関連コマンド

コマンド	説明
enable cdp	特定のインターフェイス上で CDP をイネーブルにします。

show cdp neighbors

Cisco Discovery Protocol (CDP) ネイバーのステータスを表示するには、**show cdp neighbors** コマンドを使用します。

```
show cdp neighbors [interface interface]
```

構文の説明

interface (任意) インターフェイス上の CDP ネイバーを表示します。
interface

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、CDP ネイバーのステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show cdp neighbors
Capability Codes: R - Router, T - Trans-Bridge, B - Source-Route-Bridge
                  S - Switch, H - Host, I - IGMP, r - Repeater,
                  V - VoIP-Phone, D - Remotely-Managed-Device,
                  s - Supports-STP-Dispute

Device-ID           Local Intrfce Hldtme Capability Platform      Port ID
Switch              mgmt0         163      S I          WS-C2960-24TC Fas0/21
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
cdp holdtime	CDP が、ネイバー情報をリフレッシュするまでに、ネイバー情報を保持する時間を設定します。

show cfs application

現在、Cisco Fabric Services (CFS) 配信の使用がイネーブルであるアプリケーションの情報を表示するには、**show cfs application** コマンドを使用します。

show cfs application [*name application_name*]

構文の説明

name (任意) 特定のアプリケーションの名前を表示します。
application_name

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、CFS 配信の使用がイネーブルであるアプリケーションの CFS 情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs application
```

```
-----
Application    Enabled    Scope
-----
ntp            No        Physical-fc-ip
stp            Yes       Physical-eth
vpc            Yes       Physical-eth
igmp           Yes       Physical-eth
l2fm           Yes       Physical-eth
role           No        Physical-fc-ip
radius         No        Physical-fc-ip
callhome       Yes       Physical-fc-ip
```

Total number of entries = 8

次に、Call Home アプリケーションに関する CFS 情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs application name callhome
```

```
Enabled       : Yes
Timeout       : 20s
```

■ show cfs application

```

Merge Capable : Yes
Scope         : Physical-fc-ip
Region        : 4

```

関連コマンド

コマンド	説明
show application_name session status	アプリケーションの CFS コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。これには、最後のアクション、結果、および障害がある場合はその理由が含まれます。
show cfs internal	メモリの統計情報、イベント履歴など、CFS 内部の情報を表示します。
show cfs lock	アクティブ CFS ファブリック ロックを表示します。
show cfs merge status name	特定の CFS アプリケーションの結合ステータスを表示します。
show cfs peers	物理ファブリック内の、すべての CFS ピアを表示します。
show cfs regions	ピアおよびリージョン情報を持つすべての CFS アプリケーションを表示します。
show cfs status	デバイスでの CFS 配信のステータスと IP 配信情報を表示します。
show tech-support cfs	CFS の問題解決時にテクニカルサポートが必要とする CFS コンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show logging level cfs	CFS ロギングのコンフィギュレーションを表示します。

show cfs lock

配信のために Cisco Fabric Services (CFS) を利用するアプリケーションに現在設定されているロックに関する情報を表示するには、**show cfs lock** コマンドを使用します。

show cfs lock [**name** *application_name*]

構文の説明

name (任意) 特定のアプリケーションの名前を表示します。
application_name

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、配信に CFS を使用する Call Home アプリケーションに現在実行されているロックを表示する例を示します。

```
switch(config-callhome)# show cfs lock name callhome
```

```
Scope      : Physical-fc-ip
```

```
-----
Switch WWN          IP Address          User Name    User Type
-----
20:00:00:22:55:79:a4:c1 172.28.230.85      admin        CLI/SNMP v3
                    switch
```

```
Total number of entries = 10
```

関連コマンド

コマンド	説明
show application_name session status	アプリケーションの CFS コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。これには、最後のアクション、結果、および障害がある場合はその理由が含まれます。
show cfs application	現在、CFS 配信の使用がイネーブルであるアプリケーションの情報を表示します。

コマンド	説明
show cfs internal	メモリの統計情報、イベント履歴など、CFS 内部の情報を表示します。
show cfs merge status name	特定の CFS アプリケーションの結合ステータスを表示します。
show cfs peers	物理ファブリック内の、すべての CFS ピアを表示します。
show cfs regions	ピアおよびリージョン情報を持つすべての CFS アプリケーションを表示します。
show cfs static	すべての CFS スタティック ピアをステータスとともに表示します。
show cfs status	デバイスでの CFS 配信のステータスと IP 配信情報を表示します。
show tech-support cfs	CFS の問題解決時にテクニカルサポートが必要とする CFS コンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show logging level cfs	CFS ロギングのコンフィギュレーションを表示します。

show cfs merge status

配信に Cisco Fabric Services (CFS) を使用するアプリケーションの結合ステータスを表示するには **show cfs merge status** コマンドを使用します。

```
show cfs merge status [name application_name]
```

構文の説明

name (任意) 特定のアプリケーションの名前を表示します。
application_name

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、配信に CFS を使用する Call Home アプリケーションの現在の結合ステータスを表示する例を示します。この例では、Call Home アプリケーションの最新の結合は成功しています。

```
switch(config-callhome)# show cfs merge status name callhome

Physical-fc-ip Merge Status: Success [ Wed Dec 17 16:34:26 2008 ]
Local Fabric
-----
Switch WWN                IP Address
-----
20:00:00:22:55:79:a4:c1 172.28.230.85           [Merge Master]
                           switch

Total number of switches = 10
```

関連コマンド

コマンド	説明
show application_name session status	アプリケーションの CFS コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。これには、最後のアクション、結果、および障害がある場合はその理由が含まれます。
show cfs application	現在、CFS 配信の使用がイネーブルであるアプリケーションの情報を表示します。
show cfs internal	メモリの統計情報、イベント履歴など、CFS 内部の情報を表示します。
show cfs lock	アクティブ CFS ファブリック ロックを表示します。
show cfs peers	物理ファブリック内の、すべての CFS ピアを表示します。
show cfs regions	ピアおよびリージョン情報を持つすべての CFS アプリケーションを表示します。
show cfs static	すべての CFS スタティック ピアをステータスとともに表示します。
show cfs status	デバイスでの CFS 配信のステータスと IP 配信情報を表示します。
show tech-support cfs	CFS の問題解決時にテクニカルサポートが必要とする CFS コンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show logging level cfs	CFS ロギングのコンフィギュレーションを表示します。

show cfs peers

物理ファブリックのすべてのピアを表示するには、**show cfs peers** コマンドを使用します。

```
show cfs peers [name application_name]
```

構文の説明

name (任意) 特定のアプリケーションの名前を表示します。
application_name

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、Call Home アプリケーションの物理ファブリックにおけるすべてのピアを表示する例を示します。

```
switch(config-callhome)# show cfs peers name callhome
```

```
Scope      : Physical-fc-ip
```

```
-----
Switch WWN          IP Address
-----
20:00:00:22:55:79:a4:c1 172.28.230.85          [Local]
                        switch
```

```
Total number of entries = 1
```

関連コマンド

コマンド	説明
show application_name session status	アプリケーションの CFS コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。これには、最後のアクション、結果、および障害がある場合はその理由が含まれます。
show cfs application	現在、CFS 配信の使用がイネーブルであるアプリケーションの情報を表示します。

コマンド	説明
show cfs internal	メモリの統計情報、イベント履歴など、CFS 内部の情報を表示します。
show cfs lock	アクティブ CFS ファブリック ロックを表示します。
show cfs merge status name	特定の CFS アプリケーションの結合ステータスを表示します。
show cfs regions	ピアおよびリージョン情報を持つすべての CFS アプリケーションを表示します。
show cfs static	すべての CFS スタティック ピアをステータスとともに表示します。
show cfs status	デバイスでの CFS 配信のステータスと IP 配信情報を表示します。
show tech-support cfs	CFS の問題解決時にテクニカル サポートが必要とする CFS コンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show logging level cfs	CFS ログのコンフィギュレーションを表示します。

show cfs regions

すべての Cisco Fabric Services (CFS) アプリケーションとピアおよびリージョン情報を表示するには、**show cfs regions** コマンドを使用します。

```
show cfs regions {name application_name | region region_id}
```

```
show cfs regions brief {name application_name | region region_id}
```

構文の説明

name <i>application_name</i>	(任意) 指定したアプリケーションのピアおよびリージョン情報を表示します。
region <i>region_id</i>	指定したリージョン ID のピアおよびリージョン情報を表示します。 指定できる範囲は 1 ~ 200 です。
brief	設定したリージョンとアプリケーションは表示しますが、ピアは表示しません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、すべての CFS リージョンの要約を表示する例を示します。

```
switch# show cfs regions brief
```

```
-----
Region          Application  Enabled
-----
3                radius      yes
4                callhome   yes
-----
```

次に、特定の CFS リージョンを表示する例を示します。

```
switch# show cfs regions region 4
```

```
Region-ID : 4
Application: callhome
Scope      : Physical-fc-ip
-----
```

show cfs regions

```

Switch WWN                IP Address
-----
20:00:00:22:55:79:a4:c1  172.28.230.85          [Local]
                           switch
Total number of entries = 1

```

関連コマンド

コマンド	説明
show application_name session status	アプリケーションの CFS コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。これには、最後のアクション、結果、および障害がある場合はその理由が含まれます。
show cfs application	現在、CFS 配信の使用がイネーブルであるアプリケーションの情報を表示します。
show cfs internal	メモリの統計情報、イベント履歴など、CFS 内部の情報を表示します。
show cfs lock	アクティブ CFS ファブリック ロックを表示します。
show cfs merge status name	特定の CFS アプリケーションの結合ステータスを表示します。
show cfs peers	物理ファブリック内の、すべての CFS ピアを表示します。
show cfs static	すべての CFS スタティック ピアをステータスとともに表示します。
show cfs status	デバイスでの CFS 配信のステータスと IP 配信情報を表示します。
show tech-support cfs	CFS の問題解決時にテクニカルサポートが必要とする CFS コンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show logging level cfs	CFS ロギングのコンフィギュレーションを表示します。

show cfs status

Cisco Fabric Services (CFS) の現在の状態を表示するには、**show cfs status** コマンドを使用します。

show cfs status

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、CFS の現在の状態を表示する例を示します。

```
switch# show cfs status
Distribution : Enabled
Distribution over IP : Enabled - mode IPv4
IPv4 multicast address : 239.255.70.83
IPv6 multicast address : ff15::efff:4653
Distribution over Ethernet : Disabled
Total number of entries = 8
```

関連コマンド

コマンド	説明
show application_name session status	アプリケーションの CFS コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。これには、最後のアクション、結果、および障害がある場合はその理由が含まれます。
show cfs internal	メモリの統計情報、イベント履歴など、CFS 内部の情報を表示します。
show cfs lock	アクティブ CFS ファブリック ロックを表示します。
show cfs merge status name	特定の CFS アプリケーションの結合ステータスを表示します。
show cfs peers	物理ファブリック内の、すべての CFS ピアを表示します。
show cfs regions	ピアおよびリージョン情報を持つすべての CFS アプリケーションを表示します。

コマンド	説明
show logging level cfs	CFS ロギングのコンフィギュレーションを表示します。
show tech-support cfs	CFS の問題解決時にテクニカル サポートが必要とする CFS コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

show checkpoint

チェックポイント ファイルの内容を表示するには、**show checkpoint** コマンドを使用します。

show checkpoint [*name*]

構文の説明	<i>name</i>	(任意) チェックポイント ファイルの名前。名前は、63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
デフォルト		なし
コマンド モード		任意のコマンド モード
サポートされるユーザロール		ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC オペレータ VDC 管理者
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、チェックポイント ファイルの内容を表示する例を示します。

```
switch# show checkpoint stable
-----
Name: stable
version 4.0(2)
power redundancy-mode combined force
license grace-period
feature vrrp
feature tacacs+
feature ospf
feature pim
feature pim6
feature msdp
feature eigrp
feature rip
feature isis
feature pbr
feature private-vlan
feature port-security

feature interface-vlan
feature dot1x
feature hsrp
feature lacp
```

```

feature glbp
feature dhcp
feature cts
logging level port-security 5
logging level glbp 6
snmp-server context foo
snmp-server community <removed> group vdc-operator
snmp-server community <removed> group network-admin
snmp-server community <removed> group vdc-admin
role feature-group name X
role feature-group name x
role name x
  vlan policy deny
  vrf policy deny
    permit vrf x
    permit vrf X
role name X
username adminbackup password 5 $1$0ip/C5Ci$oOdx7oJS1BCFpNRmQK4na. role vdc-ope
rator
username adminbackup role network-operator
username admin password 5 $1$8GYeC4uW$4WfnImcvtAKI6Uet.ePD.1 role network-admin

```

関連コマンド

コマンド	説明
clear checkpoint database	すべてのチェックポイント ファイルをクリアします。

show configuration session

コンフィギュレーションセッションに関する情報を表示するには、**show configuration session** コマンドを使用します。

show configuration session [*name*] [*status*] [*summary*]

構文の説明

name	(任意) コンフィギュレーションセッション名。63文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）を指定します。
status	(任意) コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。
summary	(任意) アクティブなコンフィギュレーションセッションのサマリーを表示します。

デフォルト

すべてのセッションの情報を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ
VDC管理者
VDCオペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、コンフィギュレーションセッションに関する情報を表示する例を示します。各行は、セッションをコミットしたとき、Cisco NX-OSによってデバイスに適用されるCLIコマンドを表します。

```
switch# show configuration session myACLs
config session name myACLs
0001 ip access-list test1
0002 permit tcp any any
0003 statistics
```

次に、コンフィギュレーションセッションのステータスを表示する例を示します。

```
switch(config-s)# show configuration session status
Session Name      : myACLs
Last Action       : None
Last Action Status : Success
Last Action Reason : -NA-
Last Action Timestamp : 00:00:00 UTC Jan 01 1970
```

次に、コンフィギュレーションセッションのサマリーを表示する例を示します。

```
switch(config-s)# show configuration session summary
```

■ show configuration session

```

Name                Session Owner      Creation Time
-----
myACLs              admin              21:34:39 UTC Apr 27 2008
status              admin              00:53:23 UTC Apr 29 2008
a                   admin              01:47:30 UTC Apr 28 2008
myACLs              admin              00:56:46 UTC Apr 29 2008
Number of active configuration sessions = 4
switch(config-s)#

```

関連コマンド

コマンド	説明
show tech-support session-mgr	トラブルシューティング用のコンフィギュレーションセッションの詳細な情報を表示します。

show configuration session global-info

グローバル コンフィギュレーション セッションに関する情報を表示するには、**show configuration session global-info** コマンドを使用します。

show configuration session global-info

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション セッションに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show configuration session global-info
Maximum number of sessions allowed      : 32
Maximum number of commands (all ssns)  : 102400
Current number of active sessions       : 0
Current number of commands (all ssns)  : 0
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration session	コンフィギュレーション セッションに関する情報を表示します。
show tech-support session-mgr	トラブルシューティング用のコンフィギュレーション セッションの詳細な情報を表示します。

show cores

Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) のシステム コア ファイルを表示するには、**show cores** コマンドを使用します。

```
show cores [vdc-all | {vdc [e-vdc2 | vdc-id]}]
```

構文の説明

vdc-all	(任意) すべての VDC のコア ダンプを表示します。
vdc	VDC のすべてのコア ダンプを表示します。
e-vdc2	(任意) デフォルト以外の VDC の VDC ID 番号。指定できる範囲は 1 ~ 8 です。
vdc-id	(任意) VDC ID 番号。指定できる範囲は 1 ~ 8 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、システム コア ファイルを表示する例を示します。

```
switch(config)# show cores vdc-all
VDC No Module-num      Instance-num  Process-name  PID          Core-create-tim
e
-----
-
1      10              1            xmlsa        32442        May 8 15:24
1      10              1            xmlsa        25163        May 9 06:04
1      10              1            xmlsa        21581        May 9 13:25
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show system core	コアの移動に関する情報を表示します。

show diagnostic bootup level

起動時の診断に関する情報を表示するには、**show diagnostic bootup level** コマンドを使用します。

show diagnostic bootup level

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、起動時の診断レベルに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic bootup level
Current bootup diagnostic level: complete
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	diagnostic bootup level	ブートアップ診断レベルを設定します。

show diagnostic content module

モジュールの診断テストのコンテンツに関する情報を表示するには、**show diagnostic content module** コマンドを使用します。

show diagnostic content module {all | *module_number*}

構文の説明

<i>module_number</i>	診断内容モジュール番号。指定できる範囲は 1 ~ 10 です。
all	すべてのモジュールの診断内容を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

モジュールに設定されたテストおよび繰り返し間隔時間に関する情報を表示するには、**show diagnostic content module** コマンドを使用します。

例

次に、モジュールの診断テスト内容に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic content module 6
Module 6: Supervisor module-1X (Active)
Diagnostics test suite attributes:
B/C/* - Bypass bootup level test / Complete bootup level test / NA
P/*   - Per port test / NA
S/*   - Only applicable to standby unit / NA
D/N/* - Disruptive test / Non-disruptive test / NA
H/*   - Always enabled monitoring test / NA
F/*   - Fixed monitoring interval test / NA
X/*   - Not a health monitoring test / NA
E/*   - Sup to line card test / NA
L/*   - Exclusively run this test / NA
T/*   - Not an ondemand test / NA
A/I/* - Monitoring is active / Monitoring is inactive / NA
```

ID	Name	Attributes	Testing Interval (hh:mm:ss)
1)	ManagementPortLoopback----->	C**D**X**T*	-NA-
2)	EOBCPortLoopback----->	C**D**X**T*	-NA-
3)	ASICRegisterCheck----->	***N*****A	00:00:20

```

4) USB-----> C**N**X**T* -NA-
5) CryptoDevice-----> C**N**X**T* -NA-
6) NVRAM-----> ***N*****A 00:00:30
7) RealTimeClock-----> ***N*****A 00:05:00
8) PrimaryBootROM-----> ***N*****A 00:30:00
9) SecondaryBootROM-----> ***N*****A 00:30:00
10) CompactFlash-----> ***N*****A 00:30:00
11) ExternalCompactFlash-----> ***N*****A 00:30:00
12) PwrMgmtBus-----> ***N*****A 00:00:30
13) SpineControlBus-----> ***N*****A 00:00:30
14) SystemMgmtBus-----> ***N*****A 00:00:30
switch

```

関連コマンド

コマンド	説明
diagnostic start	オンデマンド診断を開始します。
diagnostic stop	オンデマンド診断を停止します。
show diagnostic bootup level	起動診断に関する情報を表示します。
show diagnostic description module	診断テストの説明を表示します。
show diagnostic events	診断イベントをエラーおよび情報イベント タイプ別に表示します。
show diagnostic ondemand setting	オンデマンド診断に関する情報を表示します。
show diagnostic results module slot	診断結果に関する情報を表示します。
show diagnostic simulation module slot	シミュレーションした診断テストに関する情報を表示します。
show diagnostic status module slot	モジュールのすべてのテストのテストステータスを表示します。
show module	オンライン診断テストステータスを含めたモジュール情報を表示します。

show diagnostic description module

モジュールの診断テストに関する情報を表示するには、**show diagnostic description module** コマンドを使用します。

```
show diagnostic description module slot test {test-ID | test-name | all}
```

構文の説明

<i>slot</i>	診断説明スロット番号。スロットの範囲は 1 ~ 10 です。
test	(任意) 選択した診断テストを表示します。
<i>test-ID</i>	(任意) テスト ID。範囲は 1 ~ 14 です。
<i>test-name</i>	(任意) テスト名。テスト名は大文字と小文字を区別し、最大 32 の英数字を使用できます。
all	(任意) すべてのモジュールのすべてのテストの説明を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、モジュールの診断説明を表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic description module 6 test 1
ManagementPortLoopback :
    A bootup test that tests loopback on the management port of
    the module
```

関連コマンド

コマンド	説明
show diagnostic content	診断テスト名とテスト ID を表示します。

show diagnostic events

診断イベントに関する情報を表示するには、**show diagnostic events** コマンドを使用します。

show diagnostic events [error | info]

構文の説明	error	(任意) エラータイプごとに診断を表示します。
	info	(任意) 情報タイプごとに診断を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール
 ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次の例では、診断イベントを表示する方法を示します。

```
switch# show diagnostic events
1) Event:E_DEBUG, length:114, at 404616 usecs after Wed Jan  7 09:38:46 2009
   [104] Event_INFO: TestName->ASICRegisterCheck TestingType->helth monitoring module->
   9 Result->pass Reason->Success

2) Event:E_DEBUG, length:114, at 414835 usecs after Wed Jan  7 09:38:26 2009
   [104] Event_INFO: TestName->ASICRegisterCheck TestingType->helth monitoring module->
   9 Result->pass Reason->Success

3) Event:E_DEBUG, length:107, at 294482 usecs after Wed Jan  7 09:38:23 2009
   [104] Event_INFO: TestName->PwrMgmtBus TestingType->helth monitoring module->9 Resul
   t->pass Reason->Success
```

次に、情報タイプごとに診断イベントを表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic events info
1) Event:E_DEBUG, length:114, at 934712 usecs after Wed Jan  7 11:40:06 2009
   [104] Event_INFO: TestName->ASICRegisterCheck TestingType->helth monitoring module->
   9 Result->pass Reason->Success
```

```
2) Event:E_DEBUG, length:110, at 314512 usecs after Wed Jan 7 11:39:53 2009
   [104] Event_INFO: TestName->SystemMgmtBus TestingType->helth monitoring module->9 Re
   sult->pass Reason->Success
```

次に、イベントタイプごとに診断イベントを表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic events error
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show diagnostic content	診断テスト名とテスト ID を表示します。

show diagnostic ondemand setting

モジュールのオンデマンド診断テストに関する情報を表示するには、**show diagnostic ondemand setting** コマンドを使用します。

show diagnostic ondemand setting

構文の説明	setting	オンデマンド診断設定を設定します。
デフォルト	なし	
コマンド モード	任意のコマンド モード	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。	
例	次に、オンデマンド診断情報を表示する例を示します。 <pre>switch# show diagnostic ondemand setting Test iterations = 1 Action on test failure = continue until test failure limit reaches 1</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	diagnostic ondemand setting	オンデマンド診断設定を設定します。

show diagnostic result

モジュールの診断テスト結果を表示するには、**show diagnostic result** コマンドを使用します。

show diagnostic result module {*slot* [*test* [*test-id* | *test-name*]] | **all**} [**detail**]

構文の説明

<i>slot</i>	診断結果のスロット番号。モジュール スロットの範囲は 1 ~ 10 です。
test	(任意) 選択した診断テストを表示します。
<i>test-id</i>	(任意) テスト ID。範囲は 1 ~ 14 です。
<i>test-name</i>	(任意) テスト名。テスト名は大文字と小文字を区別し、最大 32 の英数字を使用できます。
all	すべてのモジュールのすべてのテストの結果を表示します。
detail	(任意) 詳細な結果を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、診断テスト結果を表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic result module 6 test 6 detail
```

```
Current bootup diagnostic level: complete
Module 6: Supervisor module-1X (Active)
Diagnostic level at card bootup: complete
Test results: (. = Pass, F = Fail, I = Incomplete,
              U = Untested, A = Abort, E = Error disabled)
```

```
-----> .
6) NVRAM-----> .
Error code -----> DIAG TEST SUCCESS
Total run count -----> 1574
Last test execution time ----> Thu Jun 26 09:28:40 2008
First test failure time ----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> Thu Jun 26 09:28:41 2008
Total failure count -----> 0
```

```
switch# Consecutive failure count ---> 0
Last failure reason -----> No failures yet
```

show diagnostic simulation

モジュールのシミュレート診断に関する情報を表示するには、**show diagnostic simulation** コマンドを使用します。

show diagnostic simulation module slot

構文の説明	<i>slot</i>	診断シミュレーションのスロット番号。指定できる範囲は 1 ~ 10 です。
デフォルト	なし	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。	
例	次に、シミュレート診断に関する情報を表示する例を示します。	
	<pre>switch# show diagnostic simulation module 6 Card(6): Supervisor module-1X ----- -NA- switch#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	diagnostic test simulation	診断テストのシミュレートされたテスト結果を設定します。

show diagnostic status

すべてのテストのテスト ステータスを表示するには、**show diagnostic status** コマンドを使用します。

show diagnostic status module slot

構文の説明	<i>slot</i>	診断ステータス スロット番号。指定できる範囲は 1 ~ 10 です。
デフォルト		なし
コマンド モード		任意のコマンド モード
サポートされるユーザロール		ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン		このコマンドにライセンスは必要ありません。
例		次に、モジュールのすべてのテストのステータスに関する情報を表示する例を示します。 <pre>switch# show diagnostic status module 6 <BU>-Bootup Diagnostics, <HM>-Health Monitoring Diagnostics <OD>-OnDemand Diagnostics, <SCH>-Scheduled Diagnostics ===== Card:(6) Supervisor module-1X ===== Current running test Run by -NA- -NA- Currently Enqueued Test Run by -NA- -NA- switch#</pre>

show diff rollback-patch

送信元と宛先の違いを表示するには、**show diff rollback-patch** コマンドを使用します。

```
show diff rollback-patch {checkpoint name | running-config | startup-config}
```

構文の説明	パラメータ	説明
	checkpoint	送信元設定としてチェックポイント名を表示します。
	<i>name</i>	チェックポイント ファイルの名前。名前は、63 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
	running-config	宛先として実行コンフィギュレーションを表示します。
	startup-config	宛先としてスタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール
 ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、安定したチェックポイント ファイルと実行コンフィギュレーションの違いを表示する例を示します。

```
switch# show diff rollback-patch checkpoint stable running-config
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show checkpoint	チェックポイント ファイルの内容を表示します。
	rollback running checkpoint	設定したチェックポイント ファイルのロールバックを実装します。

show environment

ハードウェア環境ステータスに関する情報を表示するには、**show environment** コマンドを使用します。

show environment [clock | fan | power | temperature]

構文の説明	clock	(任意) クロックに関する情報を表示します。
	fan	(任意) ファンの環境に関する情報を表示します。
	power	(任意) 電源に関する情報を表示します。
	temperature	(任意) 温度環境に関する情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール
ネットワーク管理者
VDC 管理者

ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン
このコマンドは、デバイス搭載ハードウェアのステータス情報を表示します。
このコマンドにライセンスは必要ありません。

例
次に、ハードウェア環境に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show environment
```

```
Clock:
```

```
-----
Clock          Model                Hw          Status
-----
A              Clock Module        --          NotSupported/None
B              Clock Module        --          NotSupported/None
```

show environment

Fan:

Fan	Model	Hw	Status
Fan1 (sys_fan1)		0.0	Ok
Fan2 (sys_fan2)		0.0	Ok
Fan3 (fab_fan1)		0.0	Ok
Fan4 (fab_fan2)		0.0	Ok
Fan_in_PS1	--	--	Ok
Fan_in_PS2	--	--	Ok
Fan_in_PS3	--	--	Absent
Fan Air Filter : Absent			

Temperature:

Module	Sensor	MajorThresh (Celsius)	MinorThres (Celsius)	CurTemp (Celsius)	Status
2	Crossbar (s5)	105	95	40	Ok
2	CTSdev1 (s6)	115	105	47	Ok
2	CTSdev2 (s7)	115	105	51	Ok
2	CTSdev3 (s8)	115	105	47	Ok
2	CTSdev4 (s9)	115	105	48	Ok
2	CTSdev5 (s10)	115	105	47	Ok
2	CTSdev7 (s12)	115	105	50	Ok
2	CTSdev8 (s13)	115	105	50	Ok
2	CTSdev9 (s14)	115	105	48	Ok
2	CTSdev10 (s15)	115	105	48	Ok
2	CTSdev11 (s16)	115	105	46	Ok
2	CTSdev12 (s17)	115	105	45	Ok
2	QEng1Sn1 (s18)	115	105	43	Ok
2	QEng1Sn2 (s19)	115	105	42	Ok
2	QEng1Sn3 (s20)	115	105	39	Ok
2	QEng1Sn4 (s21)	115	105	40	Ok
2	L2Lookup (s22)	115	105	43	Ok
2	L3Lookup (s23)	120	110	54	Ok

Power Supply:

Voltage: 50 Volts

PS	Model	Power (Watts)	Power (Amp)	Status
1	N7K-AC-6.0KW	0.00	0.00	Ok
2	N7K-AC-6.0KW	6000.00	120.00	Ok
3	-----	0.00	0.00	Absent

Mod	Model	Power Requested (Watts)	Power Requested (Amp)	Power Allocated (Watts)	Power Allocated (Amp)	Status
2	N7K-M148GT-11	247.00	4.94	247.00	4.94	Powered-Up
6	N7K-SUP1	210.00	4.20	210.00	4.20	Powered-Up
Xb1	N7K-C7010-FAB-1	123.50	2.47	123.50	2.47	Powered-Up


```

Power Usage Summary:
-----
Power Supply redundancy mode:           Non-Redundant (combined)
Power Supply redundancy operational mode: Non-Redundant (combined)

Total Power Capacity                    6000.00 W

Power reserved for Supervisor(s)       420.00 W
Power reserved for Fan Module(s)       2184.00 W
Power reserved for Fabric Module(s)    300.00 W
Power currently used by Modules        247.00 W

-----
Total Power Available                   2849.00 W
-----

```

次に、電源環境に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show environment power
```

```

Power Supply:
Voltage: 50 Volts
-----
PS Model                Power      Power      Status
                        (Watts)    (Amp)
-----
1  FIORANO                0.00      0.00      Ok
2  FIORANO                6000.00   120.00   Ok
3  -----                0.00      0.00      Absent

Mod Model                Power      Power      Power      Power      Status
                        Requested Requested Allocated Allocated
                        (Watts)   (Amp)     (Watts)   (Amp)
-----
2  NURBURGRING           247.00    4.94      247.00    4.94      Powered-Up
6  CATALUNYA             210.00    4.20      210.00    4.20      Powered-Up
Xb1 Estoril              123.50    2.47      123.50    2.47      Powered-Up

Power Usage Summary:
-----
Power Supply redundancy mode:           Non-Redundant (combined)
Power Supply redundancy operational mode: Non-Redundant (combined)

Total Power Capacity                    6000.00 W

Power reserved for Supervisor(s)       420.00 W
Power reserved for Fan Module(s)       2184.00 W
Power reserved for Fabric Module(s)    300.00 W
Power currently used by Modules        247.00 W

-----
Total Power Available                   2849.00 W
-----

```

関連コマンド

コマンド	説明
power redundancy-mode	電源冗長モードを設定します。

show environment power

システムの電力容量および配電に関する情報を表示するには、**show environment power** コマンドを使用します。

show environment power [ampere | detail]

構文の説明

ampere	(任意) システムの電力容量および配電に関する情報をアンペア単位で表示します。
detail	(任意) システムの電力容量および配電に関する詳細な情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2.(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

システムは、電源から情報を読み取り、消費電力に関する情報を表示します。
システムにより実際に消費されている電力は、表示される値より大きい場合があります。
このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、システムの電力容量および配電に関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config) show environment power ampere
Power Supply:
Voltage: 50 Volts
Power
Supply      Model                Actual      Total
              Output        Capacity
              (Ampere)      (Ampere)
-----
1           N7K-AC-6.0KW          29.40 A     120.00 A     Ok
2           N7K-AC-6.0KW           0.00 A       0.00 A       Ok
3           -----              0.00 A       0.00 A       Absent
4           -----              0.00 A       0.00 A       Absent

Module      Model                Actual      Power
              Draw        Allocated   Status
              (Ampere)      (Ampere)
-----
6           N7K-M108X2-12L        371.00 A     17.00 A     Powered-Up
7           N7K-M148GS-11         254.00 A      9.00 A     Powered-Up
8           N7K-M148GS-11L        247.00 A      8.00 A     Powered-Up
9           supervisor             N/A           4.20 A     Absent
10          N7K-SUP1               N/A           4.20 A     Powered-Up
Xb1         N7K-C7018-FAB-1       N/A           2.00 A     Powered-Up
Xb2         xbar                   N/A           2.00 A     Absent
Xb3         xbar                   N/A           2.00 A     Absent
Xb4         xbar                   N/A           2.00 A     Absent
Xb5         xbar                   N/A           2.00 A     Absent
fan1        N7K-C7018-FAN         4.34 A       14.72 A     Powered-Up
fan2        N7K-C7018-FAN         3.78 A       10.74 A     Powered-Up

N/A - Per module power not available

Power Usage Summary:
-----
Power Supply redundancy mode (configured)           Non-Redundant (combined)
Power Supply redundancy mode (operational)         Non-Redundant (combined)

Total Power Capacity (based on configured mode)     120.00 A
Total Power of all Inputs (cumulative)              120.00 A
Total Power Output (actual draw)                   29.40 A
Total Power Allocated (budget)                     77.00 A
Total Power Available for additional modules        42.14 A
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show environment	ハードウェア環境ステータスに関する情報を表示します。
show hardware capacity	現在システムにより使用されているプラットフォーム ハードウェア リソースに関する情報を表示します。

show event manager environment

Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベント マネージャ) 環境変数の名前と値を表示するには、**show event manager environment** コマンドを使用します。

```
show event manager environment {varname | all}
```

構文の説明

<i>varname</i>	環境変数。
all	すべての環境変数を指定します

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、すべての EEM 環境変数を表示する例を示します。

```
switch# show event manager environment all
switch#
```

show event manager event-types

Embedded Event Manager (EEM) イベント タイプを表示するには、**show event manager event-types** コマンドを使用します。

```
show event manager event-types [detail | event-type-name] [module module]
```

構文の説明	detail	(任意) すべてのイベント タイプの詳細を表示します。
	event-type-name	(任意) イベント タイプの名前。
	module module	(任意) 特定のモジュール (module) 用に定義されたイベントを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 10 です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール
 ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、EEM イベント タイプの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show event manager event-types detail
switch#
```

show event manager history events

トリガーされた組み込み型イベント マネージャ (EEM) イベントを表示するには、**show event manager history events** コマンドを使用します。

show event manager history events [*detail*] [*maximum number*] [*severity severity*]

構文の説明

detail	(任意) すべてのイベント タイプの詳細を表示します。
maximum number	(任意) 表示する履歴イベントの最大数 (number) を指定します。
severity severity	(任意) 指定された重大度 (severity) のイベントのみ表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、トリガーされた EEM 履歴イベントのうち、重大度が 7 のものを表示する例を示します。

```
switch# show event manager history events severity 7
switch#
```

show event manager policy

登録された Embedded Event Manager (EEM) ポリシーを表示するには、**show event manager policy** コマンドを使用します。

show event manager policy [**detail**] [*policy-name* | **inactive**]

構文の説明	detail	(任意) すべてのポリシーの詳細を表示します。
	<i>policy-name</i>	(任意) ポリシーの名前。
	inactive	(任意) 非アクティブなポリシーのみ表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、EEM ポリシーを表示する例を示します。

```
switch# show event manager policy
switch#
```

show event manager policy-state

名前付き Embedded Event Manager (EEM) ポリシーの状態を表示するには、**show event manager policy-state** コマンドを使用します。

show event manager policy-state *name* [**module** *module*]

構文の説明

<i>name</i>	状態を表示するポリシーの名前。
module <i>module</i>	(任意) 特定のモジュール (module) 用に定義されたポリシーの状態を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 10 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、EEM ポリシーの状態を表示する例を示します。

```
switch# show event manager policy-state policy42
switch#
```


show event manager script

組み込み型イベント マネージャ (EEM) のスクリプト ポリシーを表示するには、**show event manager script** コマンドを使用します。

```
show event manager script system {name | all}
```

構文の説明

<i>name</i>	表示するスクリプトの名前。
all	すべてのシステム スクリプトを表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、EEM に定義されたすべてのシステム スクリプトを表示する例を示します。

```
switch# show event manager script system all  
switch#
```

show event manager system-policy

Embedded Event Manager (EEM) のシステム ポリシーを表示するには、**show event manager system-policy** コマンドを使用します。

show event manager system-policy [all]

構文の説明	all	(任意) すべてのポリシー (高度なポリシーや上書き禁止のポリシーも含む) を表示します。
デフォルト	なし	
コマンド モード	任意のコマンド モード	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。	

例

次に、EEM システム ポリシーを表示する例を示します。

```
switch# show event manager system-policy
Name : __BootupPortLoopback
  Description : Do CallHome, log error on affected ports after 1 consecutive f
  ailure of GOLD "BootupPortLoopback" test
  Overridable : Yes

      Name : __PortLoopback
      Description : Do CallHome, log error and disable further HM testing on affec
      ted ports after 10 consecutive failures of GOLD "PortLoopback" test
      Overridable : Yes

      Name : __RewriteEngineLoopback
      Description : Do CallHome, log error and disable further HM testing on affec
      ted ports after 10 consecutive failures of GOLD "RewriteEngineLoopback" test
      Overridable : Yes

      Name : __asic_register_check
      Description : Do CallHome, log error and disable further HM testing for that
      ASIC device/instance after 20 consecutive failures of GOLD "AsicRegisterCheck"
      test
      Overridable : Yes

      Name : __compact_flash
      Description : Do CallHome, log error and disable further HM testing after 20
      consecutive failures of GOLD "CompactFlash" test
      Overridable : Yes

      Name : __crypto_device
      Description : Do CallHome and log error when GOLD "CryptoDevice" test fails
      Overridable : Yes

      Name : __eobc_port_loopback
      Description : Do CallHome and log error when GOLD "EOBCPortLoopback" test fa
      ils
      Overridable : Yes

      Name : __ethpm_debug_1
      Description : Action: none
      Overridable : Yes

      Name : __ethpm_debug_2
      Description : Action: none
      Overridable : Yes

      Name : __ethpm_debug_3
      Description : Action: none
      Overridable : Yes

      Name : __ethpm_debug_4
      Description : Action: none
      Overridable : Yes

      Name : __ethpm_link_flap
      Description : More than 30 link flaps in 420 seconds interval. Action: Error
      Disable the port
      Overridable : Yes

      Name : __external_compact_flash
      Description : Do CallHome, log error and disable further HM testing after 20
      consecutive failures of GOLD "ExternalCompactFlash" test
      Overridable : Yes
switch#
```

show flow exporter

Flexible NetFlow フロー エクスポートのステータスと統計情報を表示するには、**show flow exporter** コマンドを使用します。

show flow exporter [**name** *exporter-name*]

構文の説明

name *exporter-name* (任意) フロー エクスポートの名前を指定します。名称は 64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。

デフォルト

ルータに設定されているすべてのフロー エクスポートの情報が表示されます。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show flow exporter コマンドを使用するには、事前に、エクスポートを使用して Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、ルータに設定されているすべてのフロー エクスポートのステータスおよび統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show flow exporter
Flow Exporter NFC-DC-PHOENIX:
Export Version 5
Exporter Statistics
  Number of Flow Records Exported 0
  Number of Export Packets Sent 0
  Number of Export Bytes Sent 0
  Number of Destination Unreachable Events 0
  Number of No Buffer Events 0
  Number of Packets Dropped (No Route to Host) 0
  Number of Packets Dropped (other) 0
  Number of Packets Dropped (LC to RP Error) 0
  Number of Packets Dropped (Output Drops) 0
  Time statistics were last cleared: Never
Flow exporter timeout:
  Export Version 5
  Exporter Statistics
    Number of Flow Records Exported 0
```

```

Number of Export Packets Sent 0
Number of Export Bytes Sent 0
Number of Destination Unreachable Events 0
Number of No Buffer Events 0
Number of Packets Dropped (No Route to Host) 0
Number of Packets Dropped (other) 0
Number of Packets Dropped (LC to RP Error) 0
Number of Packets Dropped (Output Drops) 0
Time statistics were last cleared: Never
Flow exporter test-exporter:
  Description: test server in San Jose CA
  Export Version 5
  Exporter Statistics
    Number of Flow Records Exported 0
    Number of Export Packets Sent 0
    Number of Export Bytes Sent 0
    Number of Destination Unreachable Events 0
    Number of No Buffer Events 0
    Number of Packets Dropped (No Route to Host) 0
    Number of Packets Dropped (other) 0
    Number of Packets Dropped (LC to RP Error) 0
    Number of Packets Dropped (Output Drops) 0
    Time statistics were last cleared: Never

```

関連コマンド

コマンド	説明
clear flow exporter	エクスポートの統計情報をクリアします。
destination	フロー エクスポートのエクスポート先を設定します。
dscp	フロー エクスポートのオプションの Diffserv コード ポイント (DSCP) パラメータを設定します。
export-protocol	フロー エクスポートのエクスポート プロトコルのバージョンを設定します。
flow exporter	フロー エクスポートを作成します。
option	フロー エクスポートのオプションを設定します。
show flow exporter	フロー エクスポートのステータスと統計情報を表示します。
source	フロー エクスポートの送信元 IP アドレス インターフェイスを設定します。
template	フロー エクスポートのテンプレート再送信タイムアウトを設定します。
transport	フロー エクスポートのトランスポート プロトコルを設定します。
ttl	フロー エクスポートの存続可能時間 (TTL) を設定します。

show flow interface

特定のインターフェイスについて Flexible NetFlow のコンフィギュレーションとステータスを表示するには、**show flow interface** コマンドを使用します。

show flow interface [*interface-type number*]

構文の説明

interface-type number (任意) Flexible NetFlow のアカウント構成情報を表示するインターフェイスのタイプ。

デフォルト

インターフェイスの Flexible NetFlow アカウント構成情報が表示されます。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show flow interface コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、インターフェイス : イーサネット 0/0 および 0/1 上の Flexible NetFlow アカウント構成情報を表示する例を示します。

```
switch# show flow interface ethernet 1/0
Interface Ethernet1/0
  FNF:  monitor:      NFC-DC-PHOENIX
        direction:    Output
        traffic(ip):   on
```

```
switch# show flow interface ethernet 0/0
Interface Ethernet0/0
  FNF:  monitor:      FLOW-MONITOR-1
        direction:    Input
        traffic(ip):   sampler SAMPLER-2#
```

表 1 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 1 show flow interface のフィールドの説明

フィールド	説明
Interface	コマンドの対象となるインターフェイス
monitor	インターフェイス上に設定されているフロー モニタの名前
direction:	フロー モニタがモニタしているトラフィックの方向 表示される値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Input : インターフェイスが受信しているトラフィック • Output : インターフェイスが送信しているトラフィック
traffic (ip)	フロー モニタが通常モードとサンプラ モードのどちらであるかを示します。 表示される値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • On : 通常モード。 • Sampler : サンプラ モード (サンプラの名前も表示されます)。

関連コマンド

コマンド	説明
show flow sw-monitor	フロー モニタのステータスと統計情報を表示します。

show flow sw-monitor

Flexible NetFlow フロー モニタのステータスと統計情報を表示するには、**show flow monitor** コマンドを使用します。

```
show flow sw-monitor [name exporter-name] [cache [detailed]]
```

構文の説明

name <i>exporter-name</i>	(任意) フロー エクスポートの名前を指定します。名称は 64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
cache	スーパーバイザが生成したパケットのフローを表示します。システムのすべてのフローを取得するには、このコマンドを show hardware flow {ip ipv6} とともに使用します。
detailed	(任意) パケット フローに関する詳細な情報を表示します。

デフォルト

ルータに設定されているすべてのフロー エクスポートの情報が表示されます。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show flow exporter コマンドを使用するには、事前に、エクスポートを使用して Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、フロー モニタのステータスと統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show flow sw-monitor NFC-DC-PHOENIX statistics
Cache type:                               Normal
Cache size:                               4096
Current entries:                           4
High Watermark:                            6

Flows added:                               116
Flows aged:                                112
- Active timeout ( 1800 secs)              0
- Inactive timeout ( 15 secs)              112
- Event aged                               0
- Watermark aged                           0
- Emergency aged                           0
```


表 2 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 2 show flow sw-monitor monitor-name のフィールドの説明

フィールド	説明
Cache Type	フロー モニタのキャッシュ タイプ 表示される値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Normal : フローが通常どおり期限切れになる • Permanent : フローが期限切れにならない • Immediate : フローが即座に期限切れになる
Cache Size	キャッシュ内エントリ数
Current entries	使用中のキャッシュ内エントリ数
High Watermark	認識可能なキャッシュ エントリの最大数
Flows added	キャッシュの作成後にキャッシュに追加されたフロー
Flows aged	キャッシュの作成後に期限切れになったフロー
Active Timeout	非アクティブ タイムアウトの現在値
Inactive Timeout	アクティブ タイムアウトの現在値
Event aged	clear flow monitor コマンドの force-export オプションが使用された、または最大値に達したためカウンタ値がラップした、などのイベントによってエージングされたフローの数
Watermark aged	最高水準点を越えたためにエージングされたフローの数
Emergency aged	新しいフローを追加できるようにキャッシュからエージングアウトされたフローの数

次に、フロー モニタのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show flow sw-monitor NFC-DC-PHOENIX

Flow Monitor NFC-DC-PHOENIX:
  Description:      Used for basic traffic analysis
  Flow Record:     netflow-original
  Flow Exporter:   EXP-DC-TOPEKA
                   EXP-DC-PHOENIX

  Cache:
    Type:          normal
    Status:        allocated
    Size:          4096 entries / 311316 bytes
    Inactive Timeout: 15 secs
    Active Timeout: 1800 secs
    Update Timeout: 1800 secs
```

表 3 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 3 show flow sw-monitor monitor-name のフィールドの説明

フィールド	説明
Flow Monitor	設定したフロー モニタの名前
Description	モニタに設定した説明、またはユーザ定義のデフォルトの説明
Flow Record	フロー モニタに割り当てられたフロー レコード

表 3 show flow sw-monitor monitor-name のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Flow Exporter	フロー モニタに割り当てられたエクスポート
Cache	フロー モニタのキャッシュに関する情報
Type	フロー モニタのキャッシュ タイプ 表示される値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Normal : フローが通常どおり期限切れになる • Permanent : フローが期限切れにならない • Immediate : フローが即座に期限切れになる
Status	フロー モニタ キャッシュのステータス 表示される値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Allocated : キャッシュが割り当てられている。 • Being deleted : キャッシュが削除されている。 • Not allocated : キャッシュが割り当てられていない。
[Size]	現在のキャッシュ サイズ
Inactive Timeout	アクティブ タイムアウトの現在値
Active Timeout	非アクティブ タイムアウトの現在値
Update Timeout	更新タイムアウトの現在値

次に、NFC-DC-PHOENIX という名前のフロー モニタのステータスと統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show flow sw-monitor NFC-DC-PHOENIX cache
Cache type:                Normal
Cache size:                4096
Current entries:          8
High Watermark:           10

Flows added:              1560
Flows aged:               1552
- Active timeout ( 1800 secs) 24
- Inactive timeout ( 15 secs) 1528
- Event aged                0
- Watermark aged            0
- Emergency aged            0

IP TOS:                   0x00
IP PROTOCOL:              6
IPV4 SOURCE ADDRESS:     10.10.10.2
IPV4 DESTINATION ADDRESS: 172.16.10.2
TRNS SOURCE PORT:        20
TRNS DESTINATION PORT:   20
INTERFACE INPUT:         Et0/0
FLOW SAMPLER ID:         0
ip source as:             0
ip destination as:       0
ipv4 next hop address:    172.16.7.2
ipv4 source mask:         /0
ipv4 destination mask:   /24
tcp flags:                0x00
```

```

interface output:      Et1/0
counter bytes:         198520
counter packets:       4963
timestamp first:       10564356
timestamp last:        12154104

```

表 4 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 4 show flow sw-monitor monitor-name のフィールドの説明

フィールド	説明
Cache type	フロー モニタのキャッシュ タイプ 表示される値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Normal : フローが通常どおり期限切れになる • Permanent : フローが期限切れにならない • Immediate : フローが即座に期限切れになる
Cache Size	キャッシュ内エントリ数
Current entries	使用中のキャッシュ内エントリ数
High Watermark	認識可能なキャッシュ エントリの最大数
Flows added	キャッシュの作成後にキャッシュに追加されたフロー
Flows aged	キャッシュの作成後に期限切れになったフロー
Active timeout	アクティブ タイムアウトの現在値
Inactive timeout	非アクティブ タイムアウトの現在値
Event aged	clear flow monitor コマンドの force-export オプションの使用などのイベントによってエージングされたフローの数
Watermark aged	最高水準点を越えたためにエージングされたフローの数
Emergency aged	新しいフローを追加できるようにキャッシュからエージングアウトされたフローの数
IP TOS	IP Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス) の値
IP PROTOCOL	プロトコル番号
IPV4 SOURCE ADDRESS	IPv4 送信元アドレス
IPV4 DESTINATION ADDRESS	IPv4 宛先アドレス
TRNS SOURCE PORT	トランスポート プロトコルの送信元ポート
TRNS DESTINATION PORT	トランスポート プロトコルの宛先ポート
INTERFACE INPUT	入力を受信するインターフェイス
FLOW SAMPLER ID	フロー サンプラの ID 番号
ip source as	BGP 送信元の AS 番号
ip destination as	BGP 宛先の AS 番号
ipv4 next hop address	パケット転送先ネクスト ホップの IPv4 アドレス
ipv4 source mask	IPv4 送信元アドレス マスク
ipv4 destination mask	IPv4 宛先アドレス マスク
tcp flags	TCP フラグの値
interface output	入力を送信するインターフェイス
counter bytes	カウントされたバイト数

表 4 show flow sw-monitor monitor-name のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
counter packets	カウントされたパケット数
timestamp first	フロー内の最初のパケットのタイムスタンプ
timestamp last	フロー内の最後のパケットのタイムスタンプ

次に、NFC-DC-PHOENIX という名前のフロー モニタのステータスと統計情報を表形式で表示する例を示します。

```
switch# show flow sw-monitor NFC-DC-PHOENIX cache format table
Cache type:                Normal
Cache size:                4096
Current entries:          4
High Watermark:           6

Flows added:              90
Flows aged:               86
- Active timeout ( 1800 secs) 0
- Inactive timeout ( 15 secs) 86
- Event aged              0
- Watermark aged         0
- Emergency aged         0

IP TOS  IP PROT  IPV4 SRC ADDR  IPV4 DST ADDR  TRNS SRC PORT  TRNS DST PORT
=====  =====  =====
0x00    1   10.251.10.1   172.16.10.2    0              02
0x00    1   10.251.10.1   172.16.10.2    0              20484
0xC0    17  172.16.6.1    224.0(1).0.9   520            5202
0x00    6   10.10.11.1    172.16.10.5    25             252

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
cache	フロー モニタのフロー キャッシュ パラメータを設定します。
clear flow monitor	フロー モニタをクリアします。
exporter	フロー モニタのフロー エクスポートを指定します。
flow monitor	フロー モニタを作成します。
protocol-distribution	フロー モニタのプロトコル分散統計情報の収集を設定します。
record	フロー モニタのフロー レコードを設定します。
show flow sw-monitor	フロー モニタのステータスと統計情報を表示します。
size-distribution	フロー モニタのサイズ分散統計情報の収集を設定します。

show flow record

Flexible NetFlow フロー レコードのステータスと統計情報を表示するには、**show flow record** コマンドを使用します。

show flow record [*name record-name* | *netflow ipv4 record* | *netflow-original*]

構文の説明

name record-name	(任意) 事前に設定したフロー レコードの名前を指定します。
netflow ipv4 record	(任意) 定義済みレコードの 1 つを使用するようにフロー モニタを設定します。使用可能なレコードとその定義の一覧を表 5 に示します。
netflow-original	(任意) 起点自律システム固有の NetFlow の Flexible NetFlow による実装を指定します。

デフォルト

ルータに設定されているすべてのフロー エクスポートの情報が表示されます。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show flow exporter コマンドを使用するには、事前に、エクスポートを使用して Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

表 5 に、*record* 引数のキーワードと説明を示します。

表 5 record 引数のキーワードと説明

original-input	従来の IPv4 入力 NetFlow
original-output	従来の IPv4 出力 NetFlow
protocol-port	プロトコル ポート レコード

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、元の入力 NetFlow レコードのステータスと統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show flow record netflow ipv4 original-input
Flow record ipv4 original-input:
  Description: Traditional IPv4 input NetFlow
  No. of users: 0
  Template ID: 0
```

```

Fields:
  match ipv4 source address
  match ipv4 destination address
  match ip protocol
  match ip tos
  match transport source-port
  match transport destination-port
  match interface input
  collect routing source as
  collect routing destination as
  collect routing next-hop address ipv4
  collect transport tcp flags
  collect counter bytes
  collect counter packets
  collect timestamp sys-uptime first
  collect timestamp sys-uptime last
  collect interface output
switch#

```

表 6 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 6 show flow record netflow-original フィールドの説明

フィールド	説明
Description	レコードに設定した説明、またはユーザ定義のデフォルトの説明。
No.of users	コンフィギュレーションにおけるこのレコードへの参照の数
Total field space	これらのフィールドを格納するために必要な 1 フローあたりのバイト数
Fields	このレコードに含まれるフィールド。各フィールドの詳細については、 match および collect コマンドを参照してください。

関連コマンド

コマンド	説明
cache	フロー モニタのフロー キャッシュ パラメータを設定します。
clear flow monitor	フロー モニタをクリアします。
exporter	フロー モニタのフロー エクスポートを指定します。
flow monitor	フロー モニタを作成します。
protocol-distribution	フロー モニタのプロトコル分散統計情報の収集を設定します。
record	フロー モニタのフロー レコードを設定します。
show flow sw-monitor	フロー モニタのステータスと統計情報を表示します。
size-distribution	フロー モニタのサイズ分散統計情報の収集を設定します。
protocol-distribution	フロー モニタのプロトコル分散統計情報の収集を設定します。
record	フロー モニタのフロー レコードを設定します。

show flow timeout

Flexible NetFlow フローのキャッシュ タイムアウト値を表示するには、**show flow timeout** コマンドを使用します。

show flow timeout

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

インターフェイスの Flexible NetFlow アカウント構成情報が表示されます。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
6.1(1)	コマンド出力が変更されました。
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show flow timeout コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、F2 VDC の Flexible NetFlow フローのキャッシュ タイムアウト値を表示する例を示します。

```
switch# show flow timeout
Flow timeout values
  Active timeout:           1800 seconds
  Inactive timeout:        15 seconds
  Flush Cache timeout      15 seconds
  Fast timeout:            Disabled
  Session aging timeout:   Disabled
  Aggressive aging timeout: Disabled
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
flow timeout	フロー タイムアウトを作成します。

show hardware feature-capability

システムでサポートされる、登録済みの機能に関する情報を表示するには、**show hardware feature-capability** コマンドを使用します。

show hardware feature-capability [detailed]

構文の説明	detailed (任意) 登録済みの機能に関する詳細な情報を表示します。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">リリース</th> <th style="text-align: left;">変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.2(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.2(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.2(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。				
例	次に、システムでサポートされる、登録済みの機能に関する情報を表示する例を示します。 <pre>switch# show hardware feature-capability detailed Hardware Dependent Features: . = supported X = unsupported -- Module -- 7 12 VPC X X module 7: Device Min num too small for feature module 12: Device Min num too small for feature PVLAN . . switch#</pre>				
関連コマンド	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">コマンド</th> <th style="text-align: left;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>show hardware capacity</td> <td>ハードウェアの機能、およびシステムによる現在のハードウェア使用率の情報を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	show hardware capacity	ハードウェアの機能、およびシステムによる現在のハードウェア使用率の情報を表示します。
コマンド	説明				
show hardware capacity	ハードウェアの機能、およびシステムによる現在のハードウェア使用率の情報を表示します。				

show hardware capacity

ハードウェアの性能、およびシステムによる現在のハードウェアの使用率に関する情報を表示するには、**show hardware capacity** コマンドを使用します。

show hardware capacity [**eobc** | **fabric-utilization** | **forwarding** | **interface** | **module** | **power**]

構文の説明

eobc	(任意) Ethernet Out of Band Channel (EOBC; イーサネット アウトオブバンド チャネル) リソースを表示します。たとえば、入力 (rx) と出力 (tx) の両方向についての、秒あたりのパケット数、合計パケット数、ドロップされたパケット数などです。
fabric-utilization	(任意) スイッチ ファブリック リソースを表示します。たとえば、チャンネル スピード、出力データのパーセンテージ、入力データのパーセンテージ、ドロップされたパケット数、最大レート、タイプスタンプなどです。
forwarding	(任意) レイヤ 2 およびレイヤ 3 フォワーディング リソースを表示します。たとえば、使用可能なリソース、使用済みリソースのパーセンテージ、空きリソースのパーセンテージなどです。
interface	(任意) シャーシ、スロット、またはポート番号、およびこれに対する入力 (rx)、出力 (tx) パケット ドロップ カウンタを表示します。
module	(任意) モジュール、クロスバー リソース、および各モジュールのフラッシュと NVRAM リソースにおける合計、空き、使用済みのパーセンテージに関する情報を表示します。
power	(任意) システムの電源についての要約を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2.(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ハードウェアの性能、およびシステムによる現在のハードウェアの使用率に関する情報に基づいて、ネットワーク設計計画を作成できます。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

show hardware capacity

例

次に、ハードウェアの性能、およびシステムによる現在のハードウェアの使用率に関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware capacity module
Supervisor Redundancy HW Mode(Dual-SUPs): Disabled
Redundancy mode: Active with no standby

Switching Resources:
-----
Module  Model Number      Part Number      Serial Number
-----
  7      N7K-M148GS-11     73-11584-02     JAF1219AGFE
 10      N7K-SUP1          73-10877-11     JAF1307ALAT
 12      NURBURGRING       73-10098-04     JAB104400P0

XBAR Resources:
-----
XbarNum Model Number      Part Number      Serial Number
-----
  1      N7K-C7018-FAB-1   73-11687-01     JAF1225AGHJ

Flash/NVRAM Resources:
-----
Usage: Module  Device      Total (KB)  Free (KB)  %Used
-----
      10      bootflash  1762048    1383980    21
      10      logflash   7997912    6840772    14
      10      slot0     2026608    1985436     2
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware fabric-utilization	ファブリック使用率に関する情報を表示します。
show module	モジュールに関する情報を表示します。

show hardware capacity interface

ハードウェア インターフェイス リソースに関する情報を表示するには、**show hardware capacity interface** コマンドを使用します。

show hardware capacity interface

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、ハードウェア インターフェイス リソースに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware capacity interface
Interface Resources

Interface drops:
  Module  Total drops                Highest drop ports
     7    Tx: 0                      -
     7    Rx: 0                      -
    12    Tx: 0                      -
    12    Rx: 0                      -

Interface buffer sizes:
  Module  Bytes: Tx buffer          Rx buffer
     7                6190631          7743330
    12                6190631          7743330
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware flow utilization	NetFlow ハードウェア フローの使用率に関する情報を表示します。
show hardware fabric-utilization	ファブリック使用率に関する情報を表示します。

show hardware capacity interface

ハードウェア インターフェイス リソースに関する情報を表示するには、**show hardware capacity interface** コマンドを使用します。

show hardware capacity interface

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、ハードウェア インターフェイス リソースに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware capacity interface
Interface Resources

Interface drops:
  Module  Total drops                Highest drop ports
    7     Tx: 0                       -
    7     Rx: 0                       -
   12     Tx: 0                       -
   12     Rx: 0                       -

Interface buffer sizes:
  Module  Bytes: Tx buffer           Rx buffer
    7           6190631           7743330
   12           6190631           7743330
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware flow utilization	NetFlow ハードウェア フローの使用率に関する情報を表示します。
show hardware fabric-utilization	ファブリック使用率に関する情報を表示します。

show hardware fabric-utilization

10 ミリ秒の測定間隔からのファブリック使用率値（つまり、ASIC がリンク使用率を測定）を表示するには、**show hardware fabric-utilization** コマンドを使用します。

show hardware fabric-utilization

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、ファブリック利用率を表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware fabric-utilization
-----
Slot          Total Fabric      Utilization
              Bandwidth        Ingress % Egress %
-----
1             220 Gbps         0.00    0.00
2             92 Gbps          0.00    0.00
5             23 Gbps          0.00    0.00
6             23 Gbps          0.00    0.00
7             92 Gbps          0.00    0.00
9             46 Gbps          0.00    0.00
--More--
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware fabric-utilization	ファブリック使用率に関する情報を表示します。

show hardware fabric-utilization detail timestamp

ピーク使用率タイムスタンプの時刻および値を表示するには、**show hardware fabric-utilization detail timestamp** コマンドを使用します。

show hardware fabric-utilization detail timestamp

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
6.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、ピーク使用率の時刻および値を表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware fabric-utilization detail timestamp
swN7K148# show hardware fabric-utilization detail timestamp
-----
Fabric Planes:
A -- Unicast fabric interface
B -- Multicast/Multidestination fabric interface
-----PEAK FABRIC UTILIZATION-----
I/O |-----FABRIC-----|          Ingress          |          Egress
Slot |Mod Inst  Plane| Util          Time          | Util          Time
-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----
2   | 1   1   A   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 1   1   B   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 1   1   A   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 1   1   B   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 2   1   A   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 2   1   B   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 2   1   A   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 2   1   B   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 3   1   A   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 3   1   B   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 3   1   A   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 3   1   B   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 3   1   A   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
2   | 3   1   B   | 0%           08-11@19:18:41 | 0%           08-11@19:18:41
5   | 1   1   A   | 0%           08-11@19:18:34 | 0%           08-11@19:18:34
```



```
5      1      1      B      0%      08-11@19:18:34      0%      08-11@19:18:34
5      2      1      A      0%      08-11@19:18:34      0%      08-11@19:18:34
--More--
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware fabric-utilization	ファブリック使用率に関する情報を表示します。

show hardware flow aging

NetFlow ハードウェア フロー エージングに関する情報を表示するには、**show hardware flow aging** コマンドを使用します。

```
show hardware flow aging [vdc vdc-name] [module slot-number]
```

構文の説明

vdc vdc-name	(任意) 仮想デバイス コンテキスト (VDC) 名を指定します。VDC 名は 64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
module slot-number	(任意) モジュール固有の情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show hardware flow aging コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、モジュール 2 の NetFlow エージング値を表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware flow aging module 2
VDC(1) Aging Information (time unit is second):

AgingType  Enabled  Timeout  Period  Threshold
-----+-----+-----+-----+-----
Active     Yes      1800     360     N/A
Inactive   Yes      15       3       N/A
Fast       Yes      33       6       22
Aggressive No       90       18      90
Session    No       2        5       N/A
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>flow timeout</code>	フロー タイムアウトを作成します。

show hardware flow entry

NetFlow テーブル エントリに関する情報を表示するには、**show hardware flow entry** コマンドを使用します。

```
show hardware flow entry address location type {ip | ipv6} [detail] [module slot-number]
```

構文の説明

address	NetFlow テーブル アドレスを指定します。
location	NetFlow テーブル エントリのアドレス (16 進数)。アドレス範囲は 0x0 ~ 0x3ffff です。
ip	IP フローに関する詳細な情報を表示します。
ipv6	IPv6 フローに関する詳細な情報を表示します。
detail	(任意) フローに関する詳細な情報を表示します。
module slot-number	(任意) モジュール固有の情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show hardware flow entry コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、モジュール 2 の NetFlow テーブル エントリを表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware flow entry address 0x0 type ip module 2
NT Entry Info (dev_id = 0, nt_entry_addr = 0x00000000):
```

```
protocol          = 0 (0=IPv4/IPMAC, 1=IPv6, 2=L2, 3=MPLS)
profile_id        = 0
recir_id          = 0
is_routed         = 0
from_rp          = 0
lkup_dir         = 0 (0=Ingress, 1=Egress)
ilif(ovld_a)     = 0x0
elif(ovld_b)     = 0x0
tos(ovld_e)      = 0
```

```

l4_protocol          = 0
l4_hdr_vld           = 0
fragment             = 0
mpls                 = 0
l4_info(ovld_d)      = 0x00000000
ipv4_sa(ovld_f)      = 0.0.0.0
ipv4_da(ovld_g)      = 0.0.0.0
ipmac                = 0
segment              = 0
hash_addr            = 0x0
icam                 = 0
create_ts            = 0
sh_plc_idx/sampler_id = 0x0
rdt_tbl_idx          = 0x0
ignr_aclo            = 0
ignr_qoso            = 0
ignr_acc             = 0
ignr_agg_qos         = 0
tcp_rdt_dst          = 0
copy_policy_idx      = 0x0
nf_acos              = 0
mark_en              = 0
nf_qos_mode          = 0
policer_param_idx   = 0x0
elam_trig            = 0
valid                = 0
sw_entry             = 0
profile_merged       = 0
fast_ag_en           = 0
sw_bits1             = 0
dgt_mode             = 0
adj_ptr/dgt          = 0x0
ignr_qosi            = 0
ignr_acli            = 0

```

NS Entry Info (dev_id = 0, ns_entry_addr = 0x00000000):

```

ack_after_fin        = 0
tcp_flag              = 0x0 (URG=0, ACK=0, PSH=0, RST=0, SYN=0, FIN=0)
mf_ls_ts              = 0
mf_bkt                = 0
nf_pkt_cnt            = 0000000000
nf_byte_cnt           = 0000000000000
nf_byte_cnt_excd     = 00000000000000
ls_used_ts            = 0
sw_prog/sticky_status = 0

```

関連コマンド

コマンド	説明
flow	フローを作成します。

show hardware flow

NetFlow ハードウェア IP フローに関する情報を表示するには、**show hardware flow ip** コマンドを使用します。

```
show hardware flow {ip | ipv6} [interface type number | monitor monitor-name | profile profile-id
| vdc vdc-name | vlan vlan-name] [detail] [module module]
```

構文の説明

ip	IP フローに関する情報を表示します。
ipv6	IPv6 フローに関する情報を表示します。
interface interface-type number	(任意) Flexible NetFlow のアカウント構成情報を表示するインターフェイスのタイプを指定します。
monitor monitor-name	(任意) フロー モニタの名前を指定します。モニタ名は 64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
profile profile-id	(任意) フロー プロファイルの名前を指定します。プロファイル ID の範囲は 0 ~ 31 です。
vdc vdc-name	(任意) 仮想デバイス コンテキスト (VDC) 名を指定します。VDC 名は 64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
detail	(任意) フローに関する詳細な情報を表示します。
module slot-number	(任意) モジュール固有の情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show hardware flow ip コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、モジュール 8 の NetFlow エージング値を表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware flow ip module 8
```

```
D - Direction; L4 Info - Protocol:Source Port:Destination Port
```

IF - Interface: (E)thernet, (S)vi, (V)lan, (P)ortchannel, (T)unnel
 TCP Flags: Ack, Flush, Push, Reset, Syn, Urgent

```

D IF      SrcAddr          DstAddr          L4 Info          PktCnt          TCP Flags
-----+-----+-----+-----+-----+-----
I 8/26    007.002.000.002    007.001.000.002  000:00000:00000  0000421885    . . . . .
I 8/25    007.001.000.002    007.002.000.002  000:00000:00000  0000421900    . . . . .
O 8/25    007.002.000.002    007.001.000.002  000:00000:00000  0000422213    . . . . .
O 8/26    007.001.000.002    007.002.000.002  000:00000:00000  0000422228    . . . . .
switch(config)#

```

関連コマンド

コマンド	説明
flow	フローを作成します。

show hardware flow l2

NetFlow ハードウェア レイヤ 2 フローに関する情報を表示するには、**show hardware flow l2** コマンドを使用します。

```
show hardware flow l2 [monitor monitor-name | profile profile-id | vdc vdc-id | vlan vlan-id]
[detail] [instance instance] [module module]
```

構文の説明

monitor <i>monitor-name</i>	(任意) フロー モニタの名前を指定します。モニタ名は 64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
profile <i>profile-id</i>	(任意) フロー プロファイルの名前を指定します。プロファイル ID の範囲は 0 ~ 7 です。
vdc	(任意) 仮想デバイス コンテキスト (VDC) 名を指定します。
<i>vdc-id</i>	(任意) 仮想デバイス コンテキスト ID。範囲は、1 ~ 16 文字の英数字文字列です。
vlan	(任意) VLAN を表示します。
<i>vlan-id</i>	(任意) VLAN ID を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
detail	(任意) フローに関する詳細な情報を表示します。
instance	(任意) EARL インスタンスに関する情報を表示します。
<i>instance</i>	(任意) インスタンス番号を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 2 です。
<i>slot number</i>	(任意) スロット番号を指定します。有効な範囲は 1 ~ 18 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NetFlow レイヤ 2 フローに関する詳細な出力情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show hardware flow l2 detail
D IF          SMAC          DMAC          ET  PktCnt      TCP Flags     DSCP
-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----
I V 100 0002.0002.0002 0018.bad7.e995 0800 0000279860 A F P R S U
switch#
```


関連コマンド

コマンド	説明
flow	フローを作成します。

show hardware flow sampler

サンプリングされた NetFlow ハードウェア フローに関する情報を表示するには、**show hardware flow sampler** コマンドを使用します。

```
show hardware flow sampler {all | count | index number | name sampler-name | vdc vdc_id}
[detail] [module module] [instance instance]
```

構文の説明		
all		サンプリングされたすべての NetFlow ハードウェア フローを指定します。
count		サンプリング テーブルの使用率を指定します。
index number		サンプリング テーブルのインデックス (16 進数) を指定します。範囲は 0x0 ~ 0x3ff です。
name sampler-name		サンプリング名を指定します。名称は 64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
vdc vdc-name		仮想デバイス コンテキスト (VDC) 名を指定します。VDC 名は 64 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
detail		(任意) フローに関する詳細な情報を表示します。
module slot-number		(任意) モジュール固有の情報を表示します。
instance instance		(任意) インスタンス番号を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show hardware flow sampler** コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルにしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、モジュール 2 の NetFlow サンプリング テーブルの使用率を表示する例を示します。

```
switch# show hardware flow sampler count module 2
Sampler Table Utilization: about 0.00% (0/64)
```

関連コマンド

コマンド	説明
flow	フローを作成します。

show hardware flow utilization

NetFlow ハードウェア フロー使用率に関する情報を表示するには、**show hardware flow utilization** コマンドを使用します。

show hardware flow utilization [module *module*]

構文の説明

module *slot-number* (任意) モジュール固有の情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show hardware flow utilization コマンドを使用するには、事前に、Flexible NetFlow によるトラフィック モニタリングをイネーブルしておく必要があります。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、モジュール 2 の NetFlow サンプラ テーブルの使用率を表示する例を示します。

```
switch# show hardware flow utilization module 2
Flow Utilization: 0.00% (0/515090)
```

```
Total number of flows           = 0
IPv4 flow creation failure       = 0
IPv6 flow creation failure       = 0
MPLS flow creation failure       = 0
L2 flow creation failure         = 0
IFE flow creation failure        = 0
OFE flow creation failure        = 0
IFE CF FIFO full failure         = 0
OFE CF FIFO full failure         = 0
IFE NT table full failure        = 0
OFE NT table full failure        = 0
NO freelist pointer failure      = 0
Hash Table(NH) page full failure = 0
IPMAC lookup failure            = 0
L2 ACL deny                     = 0
L3 ACL deny                     = 0
IFE CF flow control              = 0
OFE CF flow control              = 0
```

```
Fast Aging failure          = 0  
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
flow	フローを作成します。

show interface ethernet capabilities

インターフェイスが Energy Efficient Ethernet (EEE) 対応かどうかを表示するには、**show interface ethernet capabilities** コマンドを使用します。

show interface ethernet *slot/chassis* capabilities

構文の説明	<i>slot/chassis</i>	スロットまたはシャーシ番号。有効範囲は 1 ~ 253 です。
	capabilities	(任意) クロック モジュール情報を表示します。
デフォルト	なし	
コマンド モード	任意のコマンド モード	
サポートされるユーザロール	ネットワーク 管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	6.1(2)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。	

例

次に、インターフェイスが EEE 対応かどうかを表示する例を示します。

```
switch(config-if)# show interface ethernet 16/1 capabilities
Ethernet16/1
  Model: N7K-F248XT-25
  Type (Non SFP): 10g
  Speed: 1000,10000
  Duplex: full
  Trunk encap. type: 802.1Q
  FabricPath capable: yes
  Channel: yes
  Broadcast suppression: percentage(0-100)
  Flowcontrol: rx-(off/on/desired),tx-(off/on/desired)
  Rate mode: dedicated
  Port mode: Routed,Switched
  QOS scheduling: rx-(8q4t),tx-(3p5q1t)
  CoS rewrite: yes
  ToS rewrite: yes
  SPAN: yes
  UDLD: yes
  MDIX: yes
  TDR capable: yes
  Link Debounce: yes
  Link Debounce Time: yes
  FEX Fabric: yes
  dot1Q-tunnel mode: yes
  Pvlan Trunk capable: yes
  Port Group Members: 1-4
  EEE (efficient-eth): yes
  PFC capable: yes
switch(config-if)#
```

show interface ethernet

インターフェイスの Energy Efficient Ethernet (EEE) ステータスを表示するには、**show interface** コマンドを使用します。

show interface ethernet slot/chassis

構文の説明	<i>slot/chassis</i>	スロットまたはシャーシ番号。範囲は 1 ~ 253 です。
デフォルト	なし。	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	6.1(2)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。	
例	次に、インターフェイスの EEE ステータスを表示する例を示します。	

```
switch# show interface ethernet2/6
Ethernet2/6 is down (Link not connected)
admin state is up, Dedicated Interface
  Hardware: 10000 Ethernet, address: 0022.5579.de41 (bia 001b.54c1.af5d)
  MTU 1500 bytes, BW 10000000 Kbit, DLY 10 usec
  reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
  Encapsulation ARPA, medium is broadcast
  auto-duplex, auto-speed, media type is 10G
  Beacon is turned off
  Auto-Negotiation is turned off
  Input flow-control is off, output flow-control is off
  Auto-mdix is turned off
  Rate mode is shared
  Switchport monitor is off
  EtherType is 0x8100
  EEE (efficient-ethernet) : n/a
  Last link flapped never
  Last clearing of "show interface" counters never
  0 interface resets
  30 seconds input rate 0 bits/sec, 0 packets/sec
  30 seconds output rate 0 bits/sec, 0 packets/sec
  Load-Interval #2: 5 minute (300 seconds)
    input rate 0 bps, 0 pps; output rate 0 bps, 0 pps
```



```
L3 in Switched:  
  ucast: 0 pkts, 0 bytes - mcast: 0 pkts, 0 bytes  
--More--
```

関連コマンド

コマンド	説明
show lldp tlv-select	LLDP TVL コンフィギュレーションを表示します。
lldp tlv-select	LLDP パケットで送受信する TLV を指定します。

show interface ethernet counter detailed

ゼロ以外のカウンタのみを表示するには、**show interface ethernet counter detailed** コマンドを使用します。

show interface ethernet slot/chassis counter detailed

構文の説明	<i>slot/chassis</i>	スロットまたはシャーシ番号。範囲は 1 ~ 253 です。
デフォルト	なし	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	6.1(2)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。	
例	次に、ゼロ以外のカウンタのみを表示する例を示します。	

```
switch# show interface ethernet 10/25 counters detailed
Ethernet10/25
Rx Packets:                               3635
  Rx Unicast Packets:                       9788
  Rx Multicast Packets:                     3631
Rx Bytes:                                  1062103
  Rx Packets from 128 to 255 bytes:         1211
  Rx Packets from 256 to 511 bytes:         2420
  Rx Packets from 1024 to 1518 bytes:       4
Tx Packets:                                 39883
  Tx Unicast Packets:                       9788
  Tx Multicast Packets:                     39879
Tx Bytes:                                  3731578
  Tx Packets from 65 to 127 bytes:          36247
  Tx Packets from 128 to 255 bytes:         1211
  Tx Packets from 256 to 511 bytes:         2421
  Tx Packets from 1024 to 1518 bytes:       4
Non Fcoe in packets:                       13419
Non Fcoe in octets:                         2392727
Non Fcoe out packets:                       39883
Non Fcoe out octets:                        3731578
Tx LPI usecs                               74304694529
Rx LPI usecs                               74329358769
```

```
Tx LPI requests          39865
Rx LPI indications      3628
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show lldp tlv-select	LLDP TVL コンフィギュレーションを表示します。
lldp tlv-select	LLDP パケットで送受信する TLV を指定します。

show inventory

デバイス ハードウェアのインベントリ情報を表示するには、**show inventory** コマンドを使用します。

show inventory [**chassis** | **clock** | **fans** | **module** | **power_supply**]

構文の説明

chassis	(任意) シャーシ情報を表示します。
clock	(任意) クロック モジュール情報を表示します。
fans	(任意) ファン情報を表示します。
module	(任意) モジュール情報を表示します。
power_supply	(任意) 電源情報を表示します。

デフォルト

すべてのハードウェア インベントリ情報を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、コンフィギュレーションの非互換性を表示する例を示します。

```
switch# show inventory
NAME: "Chassis", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis "
PID: N7K-C7010          , VID:          , SN: TBM11256507

NAME: "Slot 2", DESCR: "10/100/1000 Mbps Ethernet Module"
PID: N7K-M148GT-11     , VID:          , SN: JAB104400P0

NAME: "Slot 6", DESCR: "Supervisor module-1X"
PID: N7K-SUP1         , VID: TBD , SN: JAB10380101

NAME: "Slot 11", DESCR: "Fabric card module"
PID: N7K-C7010-FAB-1  , VID:          , SN: JAB104300HM

NAME: "Slot 33", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis Power Supply"
PID: FIORANO          , VID:          , SN: DTH1117T005

NAME: "Slot 34", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis Power Supply"
PID: N7K-AC-6.0KW     , VID:          , SN: DTH1117T009

NAME: "Slot 36", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis Fan Module"
PID:                   , VID: V00, SN:

NAME: "Slot 37", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis Fan Module"
PID:                   , VID: V00, SN:

NAME: "Slot 38", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis Fan Module"
PID:                   , VID: V00, SN:

NAME: "Slot 39", DESCR: "Nexus7000 C7010 (10 Slot) Chassis Fan Module"
PID:                   , VID: V00, SN:
switch#
```

show lldp dcbx interface ethernet

インターフェイスのローカル Data Center Bridging Capability Exchange (DCBX) の制御ステータスを表示するには、**show lldp dcbx interface ethernet** コマンドを使用します。

show lldp dcbx interface ethernet *slot/port-number*

構文の説明

slot/port-number スロット番号とポート番号を、*slot/port-number* (スロット/ポート-番号) の形式で指定します。有効範囲は 1 ~ 253 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、ローカル DCBX の制御ステータスを表示する方法を示します。

```
switch(config)# show lldp dcbx interface ethernet 1/5
Local DCBXP Control information:
Operation version: 00 Max version: 00 Seq no: 1 Ack no: 1 Type/
Subtype Version En/Will/Adv Config
003/000 000 Y/N/Y 0008
002/000 000 Y/N/Y 1111100032 32000000 00000002

Peer's DCBXP Control information:
Operation version: 00 Max version: 00 Seq no: 1 Ack no: 1
Type/ Max/Oper
Subtype Version En/Will/Err Config
003/000 000/000 Y/N/N 0008
002/000 000/000 Y/N/N 1111100032 32000000 00000002

switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show lldp tlv-select</code>	LLDP TVL コンフィギュレーションを表示します。
<code>lldp tlv-select</code>	LLDP パケットで送受信する TLV を指定します。

show lldp interface ethernet

インターフェイス上で Link Layer Discovery Protocol (LLDP; リンク層検出プロトコル) 設定を表示するには、**show lldp interface ethernet** コマンドを使用します。

show lldp interface ethernet slot/port-number

構文の説明	<i>slot/port-number</i> スロット番号、およびポート番号を、 <i>slot/port-number</i> (スロット/ポート-番号) の形式で指定します。有効範囲は 1 ~ 253 です。	
デフォルト	なし	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。	
例	次に、インターフェイスの LLDP 設定を表示する例を示します。 <pre>switch(config)# show lldp interface ethernet 6/3 Interface Information: Enable (tx/rx/dcbx): Y/Y/Y Port Mac address: 00:24:f7:19:84:72 switch(config)#</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	show lldp traffic interface ethernet	インターフェイス上で送信および受信された LLDP パケットの数を表示します。
	show running-config lldp	LLDP のグローバル コンフィギュレーションを表示します。
	lldp transmit	インターフェイス上での LLDP パケットの送信をイネーブルにします。
	lldp receive	インターフェイス上での LLDP パケットの受信をイネーブルにします。

show lldp neighbors

Link Layer Discovery Protocol (LLDP; リンク層検出プロトコル) ネイバー デバイスのステータスを表示するには、**show lldp neighbors** コマンドを使用します。

```
show lldp neighbors {detail | interface ethernet slot/port-number}
```

構文の説明

detail	LLDP ネイバーの詳細な情報を表示します。
interface ethernet	LLDP 情報を表示するインターフェイスを指定します。
slot/port-number	スロット番号、およびポート番号を、 <i>slot/port-number</i> (スロット/ポート-番号) の形式で指定します。有効範囲は 1 ~ 253 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、LLDP ネイバー デバイスのステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show lldp neighbors detail
Capability codes:
  (R) Router, (B) Bridge, (T) Telephone, (C) DOCSIS Cable Device
  (W) WLAN Access Point, (P) Repeater, (S) Station, (O) Other
Local Intf  Chassis ID      Port ID      Hold-time  Capability
Eth8/24    0018.bad8.5e45     Eth8/23      120        R
Eth8/23    0018.bad8.5e45     Eth8/24      120        R
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show lldp traffic	LLDP カウンタ (デバイスによって送信および受信された LLDP パケットの数、破棄されたパケットの数、未確認 TLV の数など) を表示します。
show lldp traffic interface ethernet	インターフェイス上で送信および受信された LLDP パケットの数を表示します。

show lldp timers

Link Layer Discovery Protocol (LLDP; リンク層検出プロトコル) の保持時間、遅延時間、アップデート頻度の設定を表示するには、**show lldp timers** コマンドを使用します。

show lldp timers

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、LLDP 保持時間、遅延時間、アップデート頻度の設定を表示する例を示します。

```
switch(config)# show lldp timers
LLDP Timers:

    Holdtime in seconds: 180
    Reinit-time in seconds: 6
    Transmit interval in seconds: 45
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show lldp holdtime	ユーザのデバイスから送信された情報が、受信側デバイスで廃棄されるまでに保持される時間を秒単位で指定します。
lldp reinit	任意のインターフェイス上で LLDP を初期化する際の遅延時間を秒単位で指定します。
lldp timer	LLDP アップデートの送信頻度を秒単位で設定します。

show lldp tlv-select

Link Layer Discovery Protocol (LLDP; リンク層検出プロトコル) のタイプ、長さ、および値 (TLV) の設定を表示するには、**show lldp tlv-select** コマンドを使用します。

show lldp tlv-select

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、LLDP の TLV 設定を表示する例を示します。

```
switch(config)# show lldp tlv-select
  access-management
  dcbx
  port-description
  port-vlan
  system-capabilities
  system-description
  system-name

switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show lldp dcbx interface ethernet	ローカルな DCBX 制御ステータスを表示します。
lldp tlv-select	LLDP パケットで送受信する TLV を指定します。

show lldp traffic

Link Layer Discovery Protocol (LLDP; リンク層検出プロトコル) カウンタ (デバイスで送受信される LLDP パケットの数、廃棄されたパケット数、認識されていない TLV の数を含む) を表示するには、**show lldp traffic** コマンドを使用します。

show lldp traffic

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、LLDP カウンタを表示する例を示します。

```
switch(config)# show lldp traffic
LLDP traffic statistics:

Total frames transmitted: 323
Total entries aged: 0
Total frames received: 0
Total frames received in error: 0
Total frames discarded: 0
Total unrecognized TLVs: 0
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show lldp traffic interface ethernet	インターフェイス上で送信および受信された LLDP パケットの数を表示します。
show running-config lldp	LLDP のグローバル コンフィギュレーションを表示します。

show lldp traffic interface ethernet

インターフェイス上で送受信される Link Layer Discovery Protocol (LLDP; リンク層検出プロトコル) パケットの数を表示するには、**show lldp traffic interface ethernet** コマンドを使用します。

show lldp traffic interface ethernet *slot/port-number*

構文の説明

slot/port-number スロット番号、およびポート番号を、*slot/port-number* (スロット/ポート-番号) の形式で指定します。有効範囲は 1 ~ 253 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、インターフェイスで送受信される LLDP パケットの数を表示する例を示します。

```
switch(config)# show lldp traffic interface ethernet 7/1
LLDP interface traffic statistics:

    Total frames transmitted: 0
    Total entries aged: 0
    Total frames received: 0
    Total frames received in error: 0
    Total frames discarded: 0
    Total unrecognized TLVs: 0
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show lldp traffic	LLDP カウンタ（デバイスによって送信および受信された LLDP パケットの数、破棄されたパケットの数、未確認 TLV の数など）を表示します。
show running-config lldp	LLDP のグローバル コンフィギュレーションを表示します。

show locator-led status

システムのロケータ LED のステータスを表示するには、**show locator-led status** コマンドを使用します。

show locator-led status

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、システムのロケータ LED のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show locator-led status
Xbar 1 : Locator LED off
Module 7 : Locator LED off
Module 9 : Locator LED off
Module 12 is not powered up.
Chassis Locator LED off
PowerSupply 1 : Locator LED off
PowerSupply 2 : Locator LED off
Fan 1 : Locator LED off
Fan 2 : Locator LED off
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
locator-led	システムの LED を点滅させます。

show logging console

コンソール ロギングの設定を表示するには、**show logging console** コマンドを使用します。

show logging console

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、コンソール ロギング コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show logging console
Logging console:          enabled (Severity: critical)
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging console	コンソールにロギングを設定します。

show logging info

ロギングの設定を表示するには、**show logging info** コマンドを使用します。

show logging info

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、ロギング コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show logging info
Logging console:                enabled (Severity: critical)
Logging monitor:                enabled (Severity: notifications)
Logging linecard:              enabled (Severity: notifications)
Logging timestamp:              Seconds
Logging loopback :              disabled
Logging server:                 enabled
{172.28.254.254}
    server severity:             notifications
    server facility:             local7
    server VRF:                  default
Logging logflash:               enabled (Severity: information)
Logging logfile:                enabled
    Name - messages: Severity - information Size - 10485760
```

Facility	Default Severity	Current Session Severity
aaa	3	5
aclog	2	2
aclmgr	3	3
auth	0	0
authpriv	3	3
bfd	2	2
--More--		

show logging ip access-list cache

IP アクセス リスト キャッシュのロギングに関する情報を表示するには、**show logging ip access-list cache** コマンドを使用します。

show logging ip access-list cache

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、IP アクセス リスト キャッシュのロギングに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging ip access-list cache  
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging ip access-list	アクセス リストのロギングを設定します。

show logging last

ログ ファイルの末尾の *number* 行を表示するには、**show logging last** コマンドを使用します。

show logging last *number*

構文の説明	<i>number</i>	行数。範囲は 1 ~ 9999 です。
デフォルト		なし
コマンド モード		任意のコマンド モード
サポートされるユーザロール		ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン		このコマンドにライセンスは必要ありません。
例		次に、ログ ファイルの末尾の 42 行を表示する例を示します。 switch# show logging last 42 switch#

show logging level

ロギング設定を表示するには、**show logging level** コマンドを使用します。

show logging level [*level*]

構文の説明	<i>level</i>	(任意) 表示するロギング設定。キーワードのオプションについては、「システムメッセージロギングファシリティ」(P.623)を参照してください。
--------------	--------------	-------------------------------------------------------------------------

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザーロール	ネットワーク管理者 ネットワークオペレータ VDC管理者 VDCオペレータ
-----------------------	------------------------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
	4.0(2)	interface-vlan 、 netstack 、 private-vlan 、および ipv6 の各キーワードが追加されました。
	4.1(2)	cfs キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。
-------------------	-----------------------

例	次に、現在の Cisco Fabric Services (CFS) ロギング設定を表示する例を示します。
----------	-------------------------------------------------------

```
switch# show logging level cfs
Facility           Default Severity      Current Session Severity
-----
cfs                 3                      3

0 (emergencies)    1 (alerts)            2 (critical)
3 (errors)         4 (warnings)          5 (notifications)
6 (information)    7 (debugging)
```

関連コマンド	コマンド	説明
	logging level	ファシリティロギングレベルを設定します。

show logging logfile

入力した範囲内でタイムスタンプが設定されているログ ファイルのメッセージを表示するには、**show logging logfile** コマンドを使用します。

show logging logfile [**start-time** yyyy mmm dd hh:mm:ss] [**end-time** yyyy mmm dd hh:mm:ss]

構文の説明

start-time	(任意) 開始時刻を yyyy mmm dd hh:mm:ss という形式で入力して指定します。月 (mmm) フィールドに 3 文字を、年 (yyyy)、日 (dd) フィールドに数字を、および時刻 (hh:mm:ss) フィールドにコロンで区切られた数字を使用します。
end-time	(任意) 終了時刻を yyyy mmm dd hh:mm:ss という形式で入力します。月 (mmm) フィールドに 3 文字を、年 (yyyy)、日 (dd) フィールドに数字を、および時刻 (hh:mm:ss) フィールドにコロンで区切られた数字を使用します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

終了時間を入力しないと、現在の時間が使用されます。
このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、示されている範囲内でタイムスタンプが設定されているログ ファイルのメッセージを表示する例を示します。

```
switch# show logging logfile start-time 2008 mar 11 12:10:00
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging logfile	ログ ファイルのロギングを設定します。

show logging loopback

ロギンググループバックの設定を表示するには、**show logging loopback** コマンドを使用します。

show logging loopback

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、ロギンググループバックの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging loopback  
switch#
```

show logging module

モジュール ロギングの設定を表示するには、**show logging module** コマンドを使用します。

show logging module

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、モジュール ロギング コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show logging module
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	logging module	モジュール ロギングを設定します。

show logging monitor

モニタ ロギングの設定を表示するには、**show logging monitor** コマンドを使用します。

show logging monitor

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、モニタ ロギング コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show logging monitor  
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging monitor	モニタにロギングを設定します。

show logging nvram

NVRAM ログ内のメッセージを表示するには、**show logging nvram** コマンドを使用します。

show logging nvram [last number-lines]

構文の説明	last number-lines (任意) 表示する行数を指定します。末尾の <i>number-lines</i> 行が表示されます。範囲は 1 ~ 100 行です。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。				
例	次に、NVRAM ログの最後の 20 行を表示する例を示します。 <pre>switch# show logging nvram last 20 switch#</pre>				

show logging onboard

エラーのタイプに基づいてオンボード ログング情報を表示するには、**show logging onboard** コマンドを使用します。

```
show logging onboard {boot-uptime | device-version | counter-stats | endtime |
environmental-history | error-stats | exception-log | interrupt-stats | kernel-trace | module
num | obfl-history | obfl-logs | stack-trace | starttime | status}
```

構文の説明

boot-uptime	OBFL ブートと動作時間情報を表示します。
device-version	OBFL デバイスのバージョン情報を表示します。
counter-stats	(任意) OBFL カウンタ統計情報を表示します。
endtime	指定された終了時刻までの OBFL ログを表示します。
environmental-history	OBFL 環境履歴を表示します。
error-stats	OBFL エラー統計情報を表示します。
exception-log	OBFL 例外ログを表示します。
interrupt-stats	OBFL 割り込み統計情報を表示します。
kernel-trace	OBFL カーネルトレース情報を表示します。
module num	特定のモジュールの OBFL 情報を表示します。
obfl-history	OBFL 履歴情報を表示します。
obfl-logs	OBFL 技術サポート ログ情報を表示します。
stack-trace	OBFL カーネル スタック トレース情報を表示します。
starttime	指定された開始時刻からの OBFL ログを表示します。
status	OBFL ステータスのイネーブル/ディセーブルを表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。
4.0(2)	counter-stats キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

starttime および **endtime** キーワードの日付および時刻引数は、月/日/年 (*mm/dd/yy*) のあとにハイフンを挿入し、さらに 24 時制の時:分:秒 (HH:MM:SS) が続く形式で入力します。次に例を示します。

- **starttime** 03/17/08-15:01:57

- **endtime** 03/18/08-15:04:57

file で有効な値は次のとおりです。

- **bootflash:**
- **ftp:**
- **scp:**
- **sftp:**
- **slot0:**
- **tftp:**
- **volatile:**

type で有効な値は次のとおりです。

- **begin [-i] [-x] [word]** : テキストに一致する行で始まります。
 - **-i** : 文字列を比較するときに、大文字小文字の違いを無視します。
 - **-x** : 行全体が一致する行だけを出力します。
 - **word** : 表現を指定します。
- **count [> file || type]** : 一致する行をカウントします。
- **egrep | grep print-match** : Egrep または Grep です。Egrep は、grep よりも高度な正規表現構文を使用して、一致するテキストの行を検索します。grep は 1 つまたは複数の正規表現に一致するテキストの行を検索し、一致する行だけを出力します。
 - **-A num** : すべての一致行の後に、指定した行数のコンテキストを出力します。指定できる範囲は 1 ~ 999 です。
 - **-B num** : すべての一致行の前に、指定した行数のコンテキストを出力します。指定できる範囲は 1 ~ 999 です。
 - **-c** : 一致行の数だけを出力します。
 - **-i** : 文字列を比較するときに、大文字小文字の違いを無視します。
 - **-n** : 各行番号の後にそれぞれの一致内容を出力します。
 - **-v** : *word* 引数に一致するものがない行だけを出力します。
 - **-w** : 語が完全に一致する行だけを出力します。
 - **-x** : 行全体が一致する行だけを出力します。
 - **word** : 表現を指定します。
- **exclude [-i] [-x] [word]** : テキストに一致する行を除外します。
 - **-i** : 文字列を比較するときに、大文字小文字の違いを無視します。
 - **-x** : 行全体が一致する行だけを出力します。
 - **word** : 表現を指定します。
- **head [-n num]** : ストリーム エディタです。オプションの **-n num** キーワードと引数を使用すると、出力する行数を指定できます。範囲は 0 ~ 2147483647 です。
- **include [-i] [-x] [word]** : テキストに一致する行を含めます。
 - **-i** : 文字列を比較するときに、大文字小文字の違いを無視します。
 - **-x** : 行全体が一致する行だけを出力します。
 - **word** : 表現を指定します。

- **last [num]** : 出力する最後の行を表示します。オプションの *num* で、出力する行数を指定します。範囲は 0 ~ 9999 です。
- **less [-E | -d]** : ファイルの最後で終了します。
 - **-E** : (任意) ファイルの最後で終了します。
 - **-d** : (任意) ダム ターミナルを指定します。
- **no-more** : コマンド出力の改ページをオフにします。
- **sed command** : ストリーム エディタ
- **wc** : 語、行、文字数をカウントします。
 - **-c** : (任意) 出力する文字数を指定します。
 - **-l** : (任意) 出力する行数を指定します。
 - **-w** : (任意) 出力する語数を指定します。
 - **>** : ファイルにリダイレクトします。
 - **|** : コマンド出力をフィルタにパイプで結合します。

このコマンドを使用すると、システム ハードウェアから OBFL データを表示できます。OBFL 機能はデフォルトでイネーブルになっており、動作温度、ハードウェア動作期間、割り込み、その他の重要なイベントやメッセージを記録します。これらのデータは、シスコ製のルータやスイッチに搭載されているハードウェア モジュールで発生した問題の診断に役立ちます。データは NVRAM 上のログ ファイルに記録されます。オンボード ハードウェアが起動すると、監視されている各領域で最初のレコードが作成され、後続のレコードの基準値となります。

OBFL 機能は、継続的なレコードの収集と古い (履歴) レコードのアーカイブで循環更新スキームを提供し、システムに関する正確なデータを保証します。データは、測定と継続ファイルのサンプルのスナップショットを表示する継続情報の形式、または収集したデータに関する詳細を提供する要約情報の形式で記録されます。履歴データが利用できない場合は、「No historical data to display」というメッセージが表示されます。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、OBFL ブートと動作時間情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard module 2 boot-uptime
Sat Feb 29 18:11:38 2008: Boot Record
-----
Boot Time.....: Sat Feb 29 18:11:38 2008
Slot Number.....: 2
Serial Number.....: JAB0912026U
Bios Version.....: v0.0.8 (08/18/07)
Alt Bios Version...: v0.0.8 (08/18/07)
Firmware Version...: 3.0(1) [build 3.0(0.291)]
switch#
```

表 7 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 7 show logging onboard boot-uptime コマンドの出力

フィールド	説明
Boot Time	ブートが発生した時刻
Slot Number	スロット番号
Serial Number	モジュールのシリアル番号

表 7 show logging onboard boot-uptime コマンドの出力 (続き)

フィールド	説明
Bios Version	プライマリ Binary Input and Output System (BIOS) のバージョン
Alt Bios Version	代替 BIOS のバージョン
Firmware Version	ファームウェアのバージョン

次に、OBFL ログイン デバイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard module 2 device-version
Device Version Records:
-----
Timestamp                Device Name                Instance  Hardware  Software
                           Num                        Version   Version
-----
Sat Feb 29 18:11:38 2008 Stratosphere                0          1          1
Sat Feb 29 18:11:38 2008 Stratosphere                1          1          1
Sat Feb 29 18:11:38 2008 Skyline-asic                0          1          1
Sat Feb 29 18:11:38 2008 Tuscany-asic                0          1          0
Sat Feb 29 18:11:38 2008 X-Bus IO                    0          6          0
Sat Feb 29 18:11:38 2008 Power Mngmnt Epl            0          6          0
Sat Feb 29 18:42:01 2008 Stratosphere                0          1          1
Sat Feb 29 18:42:01 2008 Stratosphere                1          1          1
Sat Feb 29 18:42:01 2008 Skyline-asic                0          1          1
Sat Feb 29 18:42:01 2008 Tuscany-asic                0          1          0
Sat Feb 29 18:42:01 2008 X-Bus IO                    0          6          0
Sat Feb 29 18:42:01 2008 Power Mngmnt Epl            0          6          0
switch#
```

表 8 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 8 show logging onboard device-version コマンドの出力

フィールド	説明
Timestamp	日、日付、時刻
Device Name	デバイス名
Instance Num	インスタンス数
Hardware Version	ハードウェア デバイスのバージョン
Software Version	ソフトウェア デバイスのバージョン

次に、OBFL の例外ログ情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard module 2 exception-log
Sun Feb 24 00:12:35 2008 : Exception Log Record
Device Id : 60
Device Name : DEV_SKYLINE_NI
Device Error Code : f(H)
Device Error Name : SKY_NI_ERR_BM_B1_3_BIST_FAILED
Sys Error : Skyline ni module experienced an error
Errtype : NON-CATASTROPHIC
PhyPortLayer : Fibre Channel
Port(s) Affected : 13-18
Error Description : Skyline BM B1_3 BIST for interface 2 timed out during init
DSAP : 0
UUID : 0
Time : Sun Feb 24 00:11:25 2008
```

```
switch#
```

表 9 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 9 show logging onboard exception-log コマンドの出力

フィールド	説明
Sun Feb 24 00:12:35 2008:	例外が記録された日付と時刻
Device Id:	デバイス識別番号
Device Name:	デバイス名
Device Error Code	デバイス固有のエラー コード
Device Error Name:	デバイス エラー名
Sys Error:	システム エラー メッセージ
Errtype:	エラー タイプ
PhyPortLayer:	物理層タイプ
Port(s) Affected:	影響を受けたポートの番号
Error Description:	エラーの説明
DSAP:	Destination Session Announcement Protocol (DSAP; 宛先セッション通知プロトコル) 識別子
UUID:	Universal unique identifier (UUID)

次に、OBFL 履歴情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard module 2 obfl-history
OBFL history records:
-----
Sat Feb 29 30 18:09:57 2008 : OBFL all logs cleared
Sat Feb 29 18:47:53 2008 : OBFL miscellaneous-error logs cleared
Sat Feb 29 20:07:45 2008 : OBFL miscellaneous-error logs cleared
switch#
```

show logging onboard obfl-history コマンドは、次の情報を表示します。

- OBFL が手動でディセーブルにされたときのタイムスタンプ
- OBFL が手動でイネーブルにされたときのタイムスタンプ
- OBFL データが手動で消去されたときのタイムスタンプ

次に、OBFL カーネル スタック トレース情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard module 2 stack-trace
===== STACK TRACE =====
Logging time: Sat Feb 29 19:47:38 2008
watchdog timeout: process swapper (0), jiffies 0x169bb
Stack: c0006e98 c001721c d195f5b4 c0005424 c0005500 c0003e90 c0005a2c c0005a40
c0001a88 c01bf610 c0000394
Call Trace:
print_stack2_buf + 0x50
kernel_thread + 0xb94
klm_cctrl + 0x4554
ppc_irq_dispatch_handler + 0x190
do_IRQ + 0x3c
ret_from_intercept + 0x0
probe_irq_mask + 0x494
probe_irq_mask + 0x4a8
transfer_to_handler + 0x15c
```

```

softnet_data + 0x2b0
Registers:
NIP: C0005A20 XER: 00000000 LR: C0005A2C SP: C01AA120 REGS: c01aa070 TRAP: 0500
Tainted: PF
MSR: 00009000 EE: 1 PR: 0 FP: 0 ME: 1 IR/DR: 00
DEAR: C0029B40, ESR: C01F0000
MCSR0: 00000000, MCSRR1: 00000000, MCAR: 00000000
MCSR: 00000000 MCAR: 00000000 MCPSUMR: 00000000
TASK = c01a8190[0] 'swapper' Last syscall: 120
last math 00000000 last altivec 00000000 last spe 00000000
GPR00: 00000000 C01AA120 C01A8190 00000000 00000032 C8F1DE28 D1010A9F 00000000
GPR08: 0000180F C01FA39C D1010AA3 C01B8D18 24044244 1003A44C 0FFF6700 10049000
GPR16: 0FFAE1B0 0FFAC90 00000000 00000000 00000000 00000000 00000000 00000001
GPR24: 00000000 00000000 00001160 007FFEAB 007FFE00 C01F0000 C01F0000 00000000

```

show logging onboard stack-trace コマンドは、次の情報を表示します。

- 秒単位の時間。
- マイクロ秒単位の時間
- エラーを説明するストリング
- 現在のプロセスの名前と識別子
- カーネル ジフィー (システムクロックの最小単位)
- スタックトレース

次に、**OBFL** エラー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard module 2 error-stats
```

```
-----
OBFL Data for
Module: 2
-----
```

```
-----
ERROR STATISTICS INFORMATION FOR DEVICE ID 80 DEVICE Eureka
-----
```

Error Stat Counter Name	Count	Time Stamp	In Port
		MM/DD/YY HH:MM:SS	st Rang
			Id e
PB2_TX FlwCtrl from conn. ASIC > pe 0x1		02/04/08 17:07:28	00
riod Intr			
PB2_TX FlwCtrl from conn. ASIC > pe 0x1		02/06/08 10:54:44	00
riod Intr			

```
-----
ERROR STATISTICS INFORMATION FOR DEVICE ID 81 DEVICE Lamira
-----
```

Error Stat Counter Name	Count	Time Stamp	In Port
		MM/DD/YY HH:MM:SS	st Rang
			Id e
NF2 Interrupt - NH HIT error	0x1	02/06/08 10:54:44	00

```
switch#
```


表 10 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 10 show logging onboard error-stats コマンドの出力

フィールド	説明
Error Stat Counter Name	エラー統計カウンタの名前
Count	割り込み合計回数
Time Stamp MM/DD/YY HH:MM:SS	エラー発生日時
Inst Id	インスタンス番号
Port The range is from	影響を受けたポートの番号範囲

関連コマンド

clear logging onboard	永続ログの OBFL エントリを消去します。
hw-module logging onboard	エラーのタイプに基づいて OBFL エントリをイネーブルまたはディセーブルにします。

show logging onboard

オンボード障害ログ (OBFL) を表示するには、**show logging onboard** コマンドを使用します。

```
show logging onboard {boot-uptime | device-version | endtime | environmental-history |
error-stats [port number] | exception-log | interrupt-stats | module module | obfl-history |
obfl-logs | stack-trace | starttime time [options] | status}
```

構文の説明

boot-uptime	OBFL ブートと動作時間情報を表示します。
device-version	OBFL デバイスのバージョン情報を表示します。
endtime	終了時刻までの OBFL ログを、 <i>mm/dd/yy-HH:MM:SS</i> の形式で表示します。
environmental-history	OBFL 環境履歴を表示します。
error-stats	OBFL エラー統計情報を表示します。また、特定のポートのエラー統計情報を表示するポート番号も指定できます。
port number	(任意) ポートの OBFL エラー統計情報を表示します。範囲は 1 ~ 64 です。
exception-log	OBFL 例外ログを表示します。
interrupt-stats	OBFL 割り込み統計情報を表示します。
module module	指定したモジュールの OBFL 情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 18 です。 選択したモジュールの詳細な情報を取得するために、 show logging onboard コマンドのその他の引数をオプションで指定できます。
obfl-history	OBFL 履歴情報を表示します。
obfl-logs	OBFL 技術サポート ログを表示します。
stack-trace	OBFL スタック トレースを表示します。
starttime	開始時刻からの OBFL ログを、 <i>mm/dd/yy-HH:MM:SS</i> の形式で表示します。
status	OBFL のイネーブル/ディセーブル ステータスを表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、2008 年 3 月 10 日午後 3 時 45 分からの OBFL を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard starttime 03/10/08-15:45:00
switch#
```

show logging server

Syslog サーバの設定を表示するには、**show logging server** コマンドを使用します。

show logging server

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、Syslog サーバ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show logging server
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	logging server	リモート Syslog サーバを設定します。

show logging session status

ロギングセッションステータスを表示するには、**show logging session status** コマンドを使用します。

show logging session status

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、ロギングセッションステータスを表示する例を示します。

```
switch# show logging session status  
switch#
```

show logging status

ロギング ステータスを表示するには、**show logging status** コマンドを使用します。

show logging status

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、ロギング ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show logging status
switch#
```

show logging timestamp

ロギング タイムスタンプの設定を表示するには、**show logging timestamp** コマンドを使用します。

show logging timestamp

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、ロギング タイムスタンプの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging timestamp  
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging timestamp	ロギング タイムスタンプの細かさを設定します。

show module

モジュール情報を表示するには、**show module** コマンドを使用します。

```
show module [slot {bandwidth-fairness | recovery-steps} | uptime | xbar [xbar-slot]]
```

構文の説明

<i>slot</i>	(任意) I/O モジュールまたはスーパーバイザ モジュールのスロット番号
bandwidth-fairness	モジュールの帯域幅公平性状態を表示します。
recovery-steps	モジュールをダウン状態から回復する手順を表示します。
uptime	(任意) モジュールのリロード後の経過時間を表示します。
xbar	(任意) ファブリック モジュールの情報を表示します。
<i>xbar-slot</i>	(任意) ファブリック モジュールのスロット番号

デフォルト

シャーシ内のすべての I/O モジュールとスーパーバイザ モジュールの情報を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。
4.1(2)	出力が診断イベントを表示するように変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、シャーシのすべてのモジュールに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show module
Mod  Ports  Module-Type                               Model                               Status
---  ---
7    48     1000 Mbps Optical Ethernet Modul     N7K-M148GS-11                       ok
9    0      Supervisor module-1X                  N7K-SUP1                               active *
12   0      10/100/1000 Mbps Ethernet Module     powered-dn

Mod  Power-Status  Reason
---  ---
12   powered-dn    Configured Power down

Mod  Sw          Hw
---  ---
7    4.1 (3)     0.202
9    4.1 (3)     0.805

Mod  MAC-Address(es)                          Serial-Num
---  ---
7    00-1b-54-c2-ed-d0 to 00-1b-54-c2-ee-04   JAF1219AGFE
9    00-1b-54-c0-ff-10 to 00-1b-54-c0-ff-18   JAB114000BV

Mod  Online Diag Status
---  ---
7    Pass
9    Pass

Xbar Ports  Module-Type                               Model                               Status
---  ---
1    0      Fabric Module 1                          N7K-C7018-FAB-1                       ok

Xbar Sw          Hw
---  ---
1    NA          0.101

Xbar MAC-Address(es)                          Serial-Num
---  ---
1    NA          JAF1225AGHJ

* this terminal session
switch#
```

次に、特定のモジュールの情報を表示する例を示します。

```
switch# show module 7
Mod  Ports  Module-Type                Model                Status
---  ---
7    48      1000 Mbps Optical Ethernet Modul N7K-M148GS-11      ok

Mod  Sw                Hw
---  ---
7    4.1(3)           0.202

Mod  MAC-Address(es)          Serial-Num
---  ---
7    00-1b-54-c2-ed-d0 to 00-1b-54-c2-ee-04 JAF1219AGFE

Mod  Online Diag Status
---  ---
7    Pass

Chassis Ejector Support: Enabled
Ejector Status:
Left ejector CLOSE, Right ejector CLOSE, Module HW does not support ejector based shutdown.
switch#
```

次に、ファブリック モジュールに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show module xbar
Xbar  Ports  Module-Type                Model                Status
---  ---
1     0       Fabric Module 1           N7K-C7018-FAB-1    ok

Xbar  Sw                Hw
---  ---
1     NA              0.101

Xbar  MAC-Address(es)          Serial-Num
---  ---
1     NA                    JAF1225AGHJ

* this terminal session
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware	ハードウェアに関する情報を表示します。
show inventory	ハードウェア インベントリ 情報を表示します。
show diagnostic events	診断イベントをエラーおよび情報イベント タイプ別に表示します。

show monitor

イーサネット スイッチド ポート アナライザ (SPAN) に関する情報を表示するには、**show monitor** コマンドを使用します。

show monitor

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SPAN に関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show monitor
Session State      Reason              Description
-----
1      down              Session admin shut
6      down              Session admin shut
8      down              Session admin shut
9      down              Session admin shut
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config monitor	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションに表示します。
show startup-config monitor	スタートアップ SPAN コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

show monitor session

ポート間のトラフィックを分析するイーサネット スイッチド ポート アナライザ (SPAN) セッションに関する情報を表示するには、**show monitor session** コマンドを使用します。

show monitor session {all | *session_number* | range *session_range*} [brief]

構文の説明

all	すべての SPAN セッションに関する情報を表示します。
<i>session_number</i>	指定した SPAN セッション番号。
range <i>session_range</i>	指定した範囲の SPAN セッションに関する情報を表示します。
brief	(任意) 指定した SPAN セッションに関する情報の要約を表示します。

デフォルト

すべての、設定済み SPAN セッションに関する情報の要約を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
6.1(1)	erspan-source セッションのコマンド出力が変更されました。
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、すべての設定済み ERSpan セッションに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show monitor session 2
  session 2
-----
type           : erspan-source
state          : up
erspan-id      : 100
vrf-name       : default
acl-name       : acl-name not specified
ip-ttl         : 255
ip-dscp        : 0
destination-ip : 10.1.1.2
origin-ip      : 3.3.3.3 (global)
source intf    :

  rx           : Eth7/15
    tx         : Eth7/15
    both       : Eth7/15
```

```

source VLANs      :
  rx              :
  tx              :
  both            :
filter VLANs     : filter not specified

```

Feature	Enabled	Value	Modules Supported	Modules Not-Supported
Rate-limiter	No			
MTU-Trunc	No			
Sampling	No			
MCBE	No			
L3-TX	-	-	2 4 5 7	3 10
ERSPAN-ACL	-	-	4 7	2 3 5 10

Legend:

MCBE = multicast best effort
L3-TX = L3 Multicast Egress SPAN

```

switch(config-erspan-src)# show monitor session 2
session 2

```

```

-----
type           : erspan-source
version        : 3
state          : up
erspan-id      : 100
granularity    : 100 microseconds
vrf-name       : default
acl-name       : acl-name not specified
ip-ttl         : 255
ip-dscp        : 0
destination-ip : 10.1.1.2
origin-ip      : 3.3.3.3 (global)
source intf    :
  rx           : Eth7/15
  tx           : Eth7/15
  both         : Eth7/15
source VLANs   :
  rx           :
  tx           :
  both         :
filter VLANs   : filter not specified

```

Feature	Enabled	Value	Modules Supported	Modules Not-Supported
Rate-limiter	No			
MTU-Trunc	No			
Sampling	No			
MCBE	No			
L3-TX	-	-	2 4 5 7	3 10
ERSPAN-ACL	-	-	4 7	2 3 5 10
ERSPAN-V3	Yes	-	2 3 4 10	5 7

Legend:

MCBE = multicast best effort
L3-TX = L3 Multicast Egress SPAN

関連コマンド

コマンド	説明
monitor session	SPAN セッションを設定するためのモニタ コンフィギュレーション モードを開始します。

show ntp access-groups

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) アクセス グループ設定を表示するには、**show ntp access-groups** コマンドを使用します。

show ntp access-groups

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NTP アクセス グループ設定を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp access-groups
-----
Access List                               Type
-----
Admin_Group_123                           Peer
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ntp access-group peer	NTP アクセス グループを設定します。

show ntp authentication-keys

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) 認証キーを表示するには、**show ntp authentication-keys** コマンドを使用します。

show ntp authentication-keys

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NTP 認証キーを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp authentication-keys
-----
Auth key          MD5 String
-----
3                 cisco
42                Nice_Key
34567             nexus7k
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ntp authentication-status	すべての NTP 認証のステータスを表示します。
ntp authentication-key	デバイスで同期をとれるようにするために、時刻源によってその NTP パケットで提供される必要がある 1 つ以上のキーを設定します。

show ntp authentication-status

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) 認証のステータスを表示するには、**show ntp authentication-status** コマンドを使用します。

show ntp authentication-status

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NTP 認証ステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp authentication-status
Authentication enabled.
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ntp authenticate	NTP 認証をイネーブルにします。
show ntp authentication-keys	設定済みの NTP 認証キーを表示します。

show ntp internal

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) の内部情報を表示するには、**show ntp internal** コマンドを使用します。

```
show ntp internal {event-history [config | fsm | msgs | rts | tstamp] | mem-stats [detail] |
module-info}
```

構文の説明

event-history	イベント履歴を表示します。
config	(任意) 設定履歴を指定します。
fsm	(任意) Finite State Machine (FSM; 有限状態マシン) の状態遷移を指定します。
msgs	(任意) メッセージおよびトランザクションサービス (MTS) のメッセージ履歴を指定します。
rts	(任意) Request-To-Send (RTS; 送信要求) 履歴を指定します。
tstamp	(任意) タイムスタンプの更新履歴を指定します。
mem-stats	NTP のメモリ割り当て統計情報を指定します。
detail	(任意) 詳細な NTP のメモリ割り当て統計情報を指定します。
module-info	すべてのラインカード関連の情報を指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NTP 内部情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp internal module-info  
Number of Linecards present = 4  
Timestamp check (configured) = enabled  
Timestamp check status = disabled  
Enable/Disable status  
-----  
User : not disabled  
SUP : not disabled  
Fabric : not disabled  
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ntp	NTP 情報を表示します。
show ntp statistics	NTP 統計情報を表示します。

show ntp logging-status

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) のロギング ステータスを表示するには、**show ntp logging-status** コマンドを使用します。

show ntp logging-status

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NTP ロギング ステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp logging-status
NTP logging enabled.
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ntp logging	NTP ロギングをイネーブルにします。
show ntp authentication-status	NTP 認証の状況を表示します。
show ntp session status	NTP CFS 配信セッションの情報を表示します。

show ntp peers

設定済みのネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバ、およびピアを表示するには、**show ntp peers** コマンドを使用します。

show ntp peers

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ドメイン名が解決されるのは、ドメイン ネーム システム (DNS) サーバが設定されている場合だけです。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、設定済みの NTP サーバ、およびピアをすべて表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp peers
-----
Peer IP Address          Serv/Peer
-----
2001:db8::4101          Peer (configured)
192.0.2.10              Server (configured)
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ntp server	NTP サーバを設定します。
ntp peer	NTP ピアを設定します。
show ntp peer-status	すべてのサーバおよびピアのステータスを表示します。

show ntp peer-status

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) ピアのステータスを表示するには、**show ntp peer-status** コマンドを使用します。

show ntp peer-status

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NTP のピア ステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp peer-status
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ntp peers	NTP ピアに関する情報を表示します。

show ntp pending-diff

保留中のネットワーク タイム プロトコル (NTP) の設定と、アクティブな NTP の設定の差異を表示するには、**show ntp pending-diff** コマンドを使用します。

show ntp pending-diff

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、保留中の NTP の設定と、アクティブな NTP の設定の差異を表示する例を示します。

```
switch# show ntp pending-diff
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ntp source	NTP 送信元に関する情報を表示します。
show ntp peers	NTP ピアに関する情報を表示します。

show ntp pending peers

すべてのピアにおける保留中のネットワーク タイム プロトコル (NTP) 設定の変更を表示するには、**show ntp pending peers** コマンドを使用します。

show ntp pending peers

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、すべてのピアにおける保留中の NTP 設定の変更を表示する例を示します。

```
switch# show ntp pending peers
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ntp source	NTP 送信元に関する情報を表示します。
show ntp peers	NTP ピアに関する情報を表示します。

show ntp session status

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) のセッション ステータスを表示するには、**show ntp session status** コマンドを使用します。

show ntp session status

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NTP セッション ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ntp session status
Last Action Time Stamp      : Thu Aug 1 16:22:00 20
Last Action                  : Distribution Enable
Last Action Result          : Success
Last Action Failure Reason  : none
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ntp source	NTP 送信元に関する情報を表示します。
show ntp peers	NTP ピアに関する情報を表示します。

show ntp status

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) の配信ステータスを表示するには、**show ntp status** コマンドを使用します。

show ntp status

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NTP 配信ステータスを表示する方法を示します。

```
switch(config)# show ntp status
Distribution : Disabled
Last operational state: No session
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ntp source	NTP 送信元に関する情報を表示します。
show ntp peers	NTP ピアに関する情報を表示します。

show ntp rts-update

次に、送信要求（RTS）アップデートがイネーブルかどうかを表示するには、**show ntp rts-update** コマンドを使用します。

show ntp rts-update

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、RTS アップデート情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp rts-update
RTS update is enabled
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ntp source-interface	NTP 送信元に関する情報を表示します。

show ntp source

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) 送信元に関する情報を表示するには、**show ntp source** コマンドを使用します。

show ntp source

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NTP 送信元情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp source
```

関連コマンド

コマンド	説明
ntp source	NTP 送信元を設定します。

show ntp source-interface

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) 送信元インターフェイスを表示するには、**show ntp source-interface** コマンドを使用します。

show ntp source-interface

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(3)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NTP 送信元インターフェイスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp source-interface
Source interface loopback1
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show startup-config ntp	スイッチの、スタートアップ NTP コンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show running-config ntp	スイッチで現在実行されている NTP 設定に関する情報を表示します。

show ntp statistics

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) 統計情報を表示するには、**show ntp statistics** コマンドを使用します。

```
show ntp statistics {io | local | memory | peer {ipaddr address | name name1[..namen]}}
```

構文の説明

io	入出力統計情報を表示します。
local	ローカル NTP により保持されているカウンタを表示します。
memory	メモリ コードに関連する統計カウンタを表示します。
peer	ピアのピア単位の統計カウンタを表示します。
ipaddr address	設定された IPv4 または IPv6 アドレスを持つピアの統計情報を表示します。IPv4 アドレスの形式は、ドット付き 10 進の x.x.x.x です。IPv6 アドレスは 16 進形式 (A:B::C:D) で指定します。
name name	名前を指定した 1 つ以上のピアの統計情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NTP の統計情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp statistics local
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ntp statistics	NTP の統計情報をクリアします。

show ntp status

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) の配信ステータスを表示するには、**show ntp status** コマンドを使用します。

```
show ntp status [ > | >> | | ]
```

構文の説明

>	(任意) コマンド出力をファイルにリダイレクトします。
>>	(任意) コマンド出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
	(任意) コマンド出力をフィルタにパイプで結合します。

デフォルト

ディセーブル

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、NTP アプリケーションの Cisco Fabric Services (CFS) がイネーブルか、またはディセーブルか、および設定が進行中のためファブリック ロックが実行されているかどうかを表示します。このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NTP の CFS 配信ステータスを表示する例を示します。この例では、CFS 配信がイネーブルで、ファブリックはロックされています。CFS がイネーブルのデバイスで設定が進行中の場合、変更がコミットされ設定がファブリックを介して配信されるまでファブリックはロックされます。このロックは、同時に複数の設定が実行されることを防ぎます。

```
switch(config)# show ntp status
Distribution : Enabled
Last operational state: Fabric Locked
```

関連コマンド

コマンド	説明
show cfs status	デバイスのグローバル CFS 配信ステータス (イネーブルまたはディセーブル) を表示します。
clear ntp session	アプリケーション コンフィギュレーション セッションをクリアし、保留中の変更を廃棄して、ファブリックのロックを解除します。
ntp distribute	CFS を介して配信される NTP 設定アップデートのデバイスでの受信をイネーブルにします。
cfs distribute	IP を介した CFS を含む、デバイス上のすべてのアプリケーションの CFS 配信をグローバルにイネーブルにします。
ntp enable	デバイスの NTP をイネーブルにします。NTP はデフォルトでイネーブルです。

show ntp trusted-keys

設定済みのネットワーク タイム プロトコル (NTP) Trusted Key を表示するには、**show ntp trusted-keys** コマンドを使用します。

show ntp trusted-keys

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、設定済みの NTP Trusted Key を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp trusted-keys
Trusted Keys:
42
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ntp trusted-keys	設定済みの NTP 認証キーを表示します。

show platform hardware capacity interface resources

現在のプラットフォーム ハードウェアのリソース使用率の要約を表示するには、**show platform hardware capacity interface resources** コマンドを使用します。

show platform hardware capacity interface resources

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、現在のプラットフォーム ハードウェアのリソース使用率の要約を表示する例を示します。

```
switch# show platform hardware capacity interface resources
Interface Resources

Interface drops:
  Module      Total drops:   Tx              Rx  Highest drop port: Tx Rx
              7              0              0
              - -

Interface buffer sizes:
  Module      Bytes: Tx buffer      Rx buffer
              7              6452775              7743330
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware fabric-utilization	ファブリック使用率に関する情報を表示します。

show port-monitor

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) ポート モニタ設定に関する情報を表示するには、**show port-monitor** コマンドを使用します。

show port-monitor [*policy-name*]

構文の説明	<i>policy-name</i> (任意) ポリシー名。最大 32 文字の英数字です。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.1(2)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.1(2)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.1(2)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。				

例 次に、SNMP ポート モニタ情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show port-monitor name pm2
switch(config-port-monitor)# show port-monitor pm2
```

```
Policy Name : pm2
Admin status : Not Active
Oper status : Not Active
Port type : All Ports
```

```
-----
Counter          Threshold  Interval  Rising  Threshold  event  Falling  Threshold  event  In
Use
-----
Link Loss        Delta      60         5         4         1         4
  Yes
Sync Loss        Delta      60         5         4         1         4
  Yes
Protocol Error   Delta      60         1         4         0         4
  Yes
Signal Loss      Delta      60         5         4         1         4
  Yes
Invalid Words    Delta      60         1         4         0         4
  Yes
```

■ show port-monitor

```

Invalid CRC's      Delta      60      5      4      1      4
  Yes
RX Performance    Delta      60      2147483648      4      524288000      4
  Yes
TX Performance    Delta      60      2147483648      4      524288000      4
  Yes

```

```
-----
switch(config-port-monitor)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show port-monitor status	ポート モニタのステータスを表示します。
show port-monitor active	アクティブなポート モニタ ポリシーを表示します。

show port-monitor active

アクティブな簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) ポート モニタ ポリシーに関する情報を表示するには、**show port-monitor active** コマンドを使用します。

show port-monitor active

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、アクティブな SNMP ポート モニタ ポリシーに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show port-monitor active
```

```
Policy Name : test
Admin status : Active
Oper status : Active
Port type : All Ports
```

```
-----
Counter          Threshold  Interval  Rising Threshold event  Falling Threshold e
vent In Use
-----
Link Loss        Delta      60        5          4          1          4
  Yes
Sync Loss        Delta      60        5          4          1          4
  Yes
Protocol Error   Delta      60        1          4          0          4
  Yes
Signal Loss      Delta      60        5          4          1          4
  Yes
Invalid Words    Delta      60        1          4          0          4
  Yes
Invalid CRC's    Absolute  30        10000000   100        1          4
```

■ show port-monitor active

```

      Yes
RX Performance   Delta    60      2147483648    4      524288000      4
      Yes
TX Performance   Delta    60      2147483648    4      524288000      4
      Yes
-----
-----
switch(config)#

```

関連コマンド

コマンド	説明
show port-monitor status	ポート モニタのステータスを表示します。
show port-monitor active	アクティブなポート モニタ ポリシーを表示します。

show port-monitor status

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) ポート モニタのステータスに関する情報を表示するには、**show port-monitor status** コマンドを使用します。

show port-monitor status

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SNMP ポート モニタのステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show port-monitor status
Port Monitor      : Enabled
Active Policies  : None

Last 10 logs :

switch(config-port-monitor)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show port-monitor active	アクティブなポート モニタ ポリシーを表示します。
show port-monitor	ポート モニタ コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

show processes

デバイスのプロセス情報を表示するには、**show processes** コマンドを使用します。

show processes [*vdc vdc-number*]

構文の説明

vdc vdc-number (任意) 特定の Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) のプロセス情報を表示します。

デフォルト

ローカル デバイスのすべてのプロセスの情報を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

新しい VDC はデフォルトの VDC からのみ指定できます。
このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、デバイスのプロセス情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes
```

PID	State	PC	Start_cnt	TTY	Type	Process
1	S	b7f9e468	1	-	O	init
2	S	0	1	-	O	migration/0
3	S	0	1	-	O	ksoftirqd/0
4	S	0	1	-	O	desched/0
5	S	0	1	-	O	migration/1
6	S	0	1	-	O	ksoftirqd/1
7	S	0	1	-	O	desched/1
8	S	0	1	-	O	events/0
9	S	0	1	-	O	events/1
10	S	0	1	-	O	khelper
15	S	0	1	-	O	kthread
...						

次に、新しい VDC のプロセス情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes vdc 2
```

PID	State	PC	Start_cnt	TTY	Type	Process
1	S	b7f9e468	1	-	O	init
2	S	0	1	-	O	migration/0
3	S	0	1	-	O	ksoftirqd/0
4	S	0	1	-	O	desched/0
5	S	0	1	-	O	migration/1
6	S	0	1	-	O	ksoftirqd/1
7	S	0	1	-	O	desched/1
8	S	0	1	-	O	events/0
9	S	0	1	-	O	events/1
10	S	0	1	-	O	khelper
15	S	0	1	-	O	kthread
...						

show processes cpu

デバイス上のプロセスの CPU 使用状況を表示するには、**show processes cpu** コマンドを使用します。

show processes cpu

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

ローカル デバイスのすべてのプロセスの情報を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、プロセスの CPU 使用率情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes cpu
```

```

PID      Runtime (ms)  Invoked  uSecs  1Sec  Process
-----
   1         286      315748    0      0  init
   2         302      636268    0      0  migration/0
   3        1586     72636726  0      0  ksoftirqd/0
   4         502     1345165    0      0  desched/0
   5        1956     559740    3      0  migration/1
   6        2218    457761883  0      0  ksoftirqd/1
   7        2325     1469647    1      0  desched/1
   8        1158     794795    1      0  events/0
   9        1258     721210    1      0  events/1
  10          62       2779    22      0  khelper
  15          0         30    25      0  kthread
  24          0         2     5      0  kacpid
 102         201       286    704     0  kblockd/0
 103         276       516    535     0  kblockd/1
 116          0         5     17     0  khubd
...

```

show processes cpu history

最新 60 秒、60 分、および 72 時間の、システム プロセスによる CPU 使用率に関する情報をグラフィック形式で表示するには、**show processes cpu history** コマンドを使用します。

show processes cpu history

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2.(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、最新 60 秒、60 分、および 72 時間の、システム プロセスによる CPU 使用率に関する情報をグラフィック形式で表示する例を示します。

```
switch(config)# show processes cpu history

92      5  4      73      474      64      65 575      47
    206324551543534226644368135103343343133313901236334538431915
100
90 #
80 #
70 #
60 #
50 #
40 #
30 #
20 ##
10 ###

0...5...1...1...2...2...3...3...4...4...5...5...
  0  5  0  5  0  5  0  5  0  5  0  5

CPU% per second (last 60 seconds)
# = average CPU%
```


show process cpu sort

CPU 使用率でソートした CPU プロセスに関する情報を表示するには、**show process cpu sort** コマンドを使用します。

show process cpu sort

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

モジュールはポーリングを実行し、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) キャッシング用にスーパバイザ モジュールにメッセージを送信します。負荷がない状態でモジュールに接続した場合、CPU 使用率が約 10 秒ごとに短時間急激に上昇します。プロセスの名前は **statsclient** です。

CPU 使用率の急激な上昇は、数ミリ秒の間 100 パーセントに及ぶ場合があります。このプロセスはプリエンティブであり、他の優先度が高いプロセスをブロックしません。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、CPU 使用率でソートした CPU プロセスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show process cpu sort
```

PID	Runtime (ms)	Invoked	uSecs	lSec	Process
3622	2335	6843	341	50.0%	pfstat
1	2550	4169	611	0.0%	init
2	13	2676	4	0.0%	migration/0
3	2091	883525	2	0.0%	ksoftirqd/0
4	48	6300	7	0.0%	desched/0
5	10	2816	3	0.0%	migration/1
6	21	4450597	0	0.0%	ksoftirqd/1
7	42	6416	6	0.0%	desched/1
8	1785	8581	208	0.0%	events/0
9	1560	7426	210	0.0%	events/1
10	58	2731	21	0.0%	khelper
15	0	30	25	0.0%	kthread
24	0	2	5	0.0%	kacpid

■ show process cpu sort

```

104          12          201    62    0.0%  kblockd/0
105           4          138    33    0.0%  kblockd/1
118           0           5     17    0.0%  khubd
185           0           4     3    0.0%  pdflush
186          139         3010   46    0.0%  pdflush
187           0           1     5    0.0%  kswapd0
--More--

```



(注) 1Sec カラムの値はデュアル コア CPU の値を表すため、CPU プロセスは最大 200 パーセントまで表示される場合があります。この例では、pfstat プロセスは 1 コアの 50 パーセントを消費しています。

関連コマンド

コマンド	説明
show processes cpu	デバイスのプロセスに対する CPU 使用率の情報を表示します。
show processes cpu history	最新 60 秒、60 分、および 72 時間の、システム プロセスによる CPU 使用率に関する情報をグラフィック形式で表示します。

show processes log

プロセス ログの内容を表示するには、**show processes log** コマンドを使用します。

show processes log [details | pid process-id | vdc-all]

構文の説明	details	(任意) プロセス ログにある詳細情報を表示します。
	pid process-id	(任意) 特定のプロセスのプロセス ログにある詳細情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 2147483647 です。
	vdc-all	(任意) 仮想デバイス コンテキスト (VDC) のプロセス ログ情報を表示します。

デフォルト デバイス上のすべてのプロセスの情報の要約を表示します。

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク 管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、プロセス ログにある情報の要約を表示する例を示します。

```
switch# show processes log
VDC Process          PID      Normal-exit  Stack  Core  Log-create-time
-----
1 aclmgr             3632      N           Y      N     Thu Mar 13 21:37:07 2008
1 aclmgr             4182      N           Y      N     Wed Mar 12 13:45:38 2008
1 aclmgr             4205      N           Y      N     Wed Mar 12 13:45:38 2008
1 adjmgr             4333      N           N      N     Sat Nov 24 06:25:20 2007
1 arbiter            4332      N           Y      N     Mon Nov 19 10:14:42 2007
1 arp                3870      N           Y      N     Sat Dec 22 12:02:46 2007
1 clis               10005     N           Y      N     Sat Nov 24 03:46:13 2007
1 clis               10268     N           N      N     Fri Dec 14 09:13:53 2007
1 clis               1040      N           Y      N     Fri Nov 16 13:34:30 2007
...
```

次に、プロセス ログにある詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes log details
=====
Service: aclmgr
Description: ACL Mgr

Started at Thu Mar 13 20:34:35 2008 (507163 us)
Stopped at Thu Mar 13 20:37:07 2008 (664205 us)
Uptime: 2 minutes 32 seconds

Start type: SRV_OPTION_RESTART_STATELESS (23)
Death reason: SYSMGR_DEATH_REASON_FAILURE_SIGNAL (2)
System image name: n7000-s1-dk9.4.0.1.gbin
System image version: 4.0(1) S7

PID: 3632
Exit code: signal 11 (core dumped)

CWD: /var/sysmgr/work

Virtual Memory:

CODE      08048000 - 0811CCF4
DATA      0811DCF4 - 0811EBE8
BRK       08121000 - 08259000
STACK     BFFFE270
TOTAL     47244 KB

Register Set:

EBX B7D64CD0      ECX 00000001      EDX 00000001
ESI 41170040      EDI 00000000      EBP BFFFD1C8
EAX 00000401      XDS C010007B      XES 0000007B
EAX FFFFFFFF (orig) EIP B7D5BEF2      XCS 00000073
EFL 00010292      ESP BFFFD1C0      XSS 0000007B

Stack: 4272 bytes. ESP BFFFD1C0, TOP BFFFE270

0xBFFFD1C0: B7D5BEE0 B7D64CD0 BFFFD1D8 B7D5C381 .....L.....
0xBFFFD1D0: B7D2614C FF000226 BFFFD218 B7D232BA La.&.....2..
0xBFFFD1E0: B5542014 B7D25DE0 000007DE B5542014 . T.]..... T.
0xBFFFD1F0: B7D08918 B7D2614C FF000226 08241A54 ...La.&...T.$
0xBFFFD200: B5542014 41170034 08241A54 B7D2614C . T.4..AT.$..La..
0xBFFFD210: FF000226 BFFFD2D0 BFFFD278 B7D138CE &.....x....8..
0xBFFFD220: 08246A04 08230074 BFFFD2D0 B7D5A24D .j$.t.#.....M...
0xBFFFD230: B7D6369A 00002000 00000004 00000000 .6... ..
0xBFFFD240: 0000C005 00002000 BFFFD278 B7D3CF90 ..... ..x.....
...
```


次に、特定のプロセスのプロセス ログにある詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes pid 3632
=====
Service: arp
Description: Address Resolution Protocol (ARP)

Started at Sat Dec 22 12:02:19 2007 (216828 us)
Stopped at Sat Dec 22 12:02:44 2007 (496964 us)
Uptime: 25 seconds

Start type: SRV_OPTION_RESTART_STATELESS (23)
Death reason: SYSMGR_DEATH_REASON_FAILURE_SIGNAL (2)
System image version: 4.0(0.788) S16

PID: 3912
Exit code: signal 11 (core dumped)

Threads: 3906 3905 4066 3917 3884 3870

CWD: /var/sysmgr/work

Virtual Memory:

CODE      08048000 - 08071474
DATA      08072474 - 08074794
BRK       08075000 - 080DE000
STACK     BFFFEB80
TOTAL     107908 KB

Register Set:

EBX B7EF4264      ECX B53F45CA      EDX B8009B1E
ESI B601C003      EDI B53F45C8      EBP B53F4578
EAX B8009B1E      XDS 0000007B      XES 0000007B
EAX FFFFFFFF (orig)  EIP B7EDF9AB      XCS 00000073
EFL 00010286      ESP B53F4560      XSS 0000007B

Stack: 2688 bytes. ESP B53F4560, TOP BFFFEB80

0xB53F4560: B601C003 00000001 F1EC838D B7EF4264 .....dB..
0xB53F4570: 00000000 00000000 B53F45D8 B7EE0C0D .....E?.....
0xB53F4580: B601C003 B53F45CA B53F45C8 B53F45C0 .....E?..E?.E?.
0xB53F4590: 00000001 B53F45C4 00000000 00000001 .....E?.....
...
```

次に、物理デバイス上のすべての VDC のプロセス ログ情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes log vdc-all
VDC Process          PID      Normal-exit  Stack  Core  Log-create-time
-----
1 aclmgr             3632      N           Y      N     Thu Mar 13 21:37:07 2008
1 aclmgr             4182      N           Y      N     Wed Mar 12 13:45:38 2008
1 aclmgr             4205      N           Y      N     Wed Mar 12 13:45:38 2008
1 adjmgr             4333      N           N      N     Sat Nov 24 06:25:20 2007
1 arbiter            4332      N           Y      N     Mon Nov 19 10:14:42 2007
1 arp                3870      N           Y      N     Sat Dec 22 12:02:46 2007
1 clis               10005     N           Y      N     Sat Nov 24 03:46:13 2007
1 clis               10268     N           N      N     Fri Dec 14 09:13:53 2007
1 clis               1040      N           Y      N     Fri Nov 16 13:34:30 2007
1 clis               10486     N           Y      N     Fri Nov 16 14:58:59 2007
1 clis               10646     N           Y      N     Fri Nov 16 14:59:45 2007
...
```

show processes memory

プロセスのメモリ割り当て情報を表示するには、**show processes memory** コマンドを使用します。

show processes memory [shared]

構文の説明

shared (任意) 共有メモリの割り当てを表示します。

デフォルト

プロセスに割り当てられたメモリを表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、プロセスのメモリ割り当てに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes memory
```

```

PID      MemAlloc  StackBase/Ptr  Process
-----
 1      147456   bffffda0/bffff890  init
 2         0         0/0             migration/0
 3         0         0/0             ksoftirqd/0
 4         0         0/0             desched/0
 5         0         0/0             migration/1
 6         0         0/0             ksoftirqd/1
 7         0         0/0             desched/1
 8         0         0/0             events/0
 9         0         0/0             events/1
10         0         0/0             khelper
15         0         0/0             kthread
24         0         0/0             kacpid
...

```

次に、プロセスの共有メモリの割り当てに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes memory shared
Component          Shared Memory      Size      Used  Available  Reference
                   Address      (kbytes)  (kbytes)  (kbytes)  Count
smm                0X60000000        1024         3       1021       115
cli                0X60110000       24576*      13991    10585       84
am                 0X61920000       14336*        14    14322        7
urib               0X62730000       32768*        648    32120       25
u6rib-ufdm        0X64740000         320*        188     132         2
urib-redis        0X647A0000       4096*         0     4096       25
icmpv6            0X64BB0000       2048         0     2048         2
ip                 0X64DC0000       8192         65     8127       23
urib-ufdm         0X655D0000       2048*         0     2048         2
u6rib             0X657E0000      16384*        507   15877       12
ipv6              0X667F0000       8192         2     8190         9
u6rib-notify      0X67000000       2048*         681    1367       12
rpm               0X67210000       2048         6     2042       11
mrib              0X67420000      40960         2   40958         3
mrib-mfdm         0X69C30000       5120         0     5120         2
m6rib             0X6A140000      10240         2    10238         3
m6rib-mfdm        0X6AB50000       2048         10    2038         2
igmp              0X6AD60000       8192         0     8192         2
bgp               0X6B570000       8192        182    8010         1
Shared memory totals - Size: 189 MB, Used: 16 MB, Available: 173 MB
Free Physical Memory: 0 MB kernel, 0 MB user
```

関連コマンド

コマンド	説明
show processes	プロセス情報を表示します。
show startup-config	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

show ptp brief

高精度時間プロトコル (PTP) インターフェイスの簡単なステータスを表示するには、**show ptp brief** コマンドを使用します。

show ptp brief

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、PTP インターフェイスの簡単なステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ptp brief
PTP port status
-----
Port          State
-----
Eth7/10      Passive
Eth7/1       Slave
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ptp clock	ローカルクロックのプロパティを表示します。
show ptp clocks foreign-masters-record	PTP プロセスが認識している外部マスターの状態を表示します。
show ptp corrections	最後の数個の PTP 修正を表示します。
show ptp parent	PTP の親のプロパティを表示します。
show ptp port	PTP ポートのステータスを表示します。
show ptp time-property	PTP クロックのプロパティを表示します。

show ptp clock

高精度時間プロトコル（PTP）クロック情報を表示するには、**show ptp clock** コマンドを使用します。

show ptp clock

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、PTP クロック情報を表示する例を示します。

```
switch# show ptp clock
PTP Device Type: Boundary clock
Clock Identity : 0:18:ba:ff:ff:d8: e:17
Clock Domain: 0
Number of PTP ports: 2
Priority1 : 255
Priority2 : 255
Clock Quality:
  Class : 248
  Accuracy : 254
  Offset (log variance) : 65535
Offset From Master : 0
Mean Path Delay : 0
Steps removed : 1
Local clock time:Sun Jan 15 20:57:29 2011
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ptp brief	PTP のステータスを表示します。
show ptp clocks foreign-masters-record	PTP プロセスが認識している外部マスターの状態を表示します。

コマンド	説明
show ptp corrections	最後の数個の PTP 修正を表示します。
show ptp parent	PTP の親のプロパティを表示します。
show ptp port	PTP ポートのステータスを表示します。
show ptp time-property	PTP クロックのプロパティを表示します。

show ptp clock foreign-masters-record

高精度時間プロトコル（PTP）プロセスが認識している外部マスターの状態に関する情報を表示するには、**show ptp clocks foreign-masters-record** コマンドを使用します。

```
show ptp clock foreign-masters-record {interface [ethernet]}
```

構文の説明	interface	インターフェイスを指定します。
	ethernet	(任意) イーサネット インターフェイスを指定します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール
 ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、PTP プロセスが認識している外部マスターの状態に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ptp clock foreign-masters-record interface ethernet 7/1
RP/0/0/CPU0:demo#show ptp clocks foreign-masters
P1=Priority1, P2=Priority2, C=Class, A=Accuracy,
OSLV=Offset-Scaled-Log-Variance, SR=Steps-Removed
GM=Is grandmaster
```

Interface	Clock-ID	P1	P2	C	A	OSLV	SR	
Eth7/10	0:18:ba:ff:ff:d8: e:16	255	255	248	254	65535	0	GM
Eth7/1	0:18:ba:ff:ff:d8: e:16	255	255	248	254	65535	0	GM

関連コマンド

コマンド	説明
show ptp brief	PTP のステータスを表示します。
show ptp clock	ローカルクロックのプロパティを表示します。
show ptp corrections	最後の数個の PTP 修正を表示します。
show ptp parent	PTP の親のプロパティを表示します。
show ptp port	PTP ポートのステータスを表示します。
show ptp time-property	PTP クロックのプロパティを表示します。

show ptp corrections

イーサネット インターフェイス上の高精度時間プロトコル (PTP) クロック修正の履歴を表示するには、**show ptp corrections** コマンドを使用します。

show ptp corrections

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、イーサネット インターフェイス上の PTP クロック修正の履歴を表示する例を示します。

```
switch# show ptp corrections
PTP corrections
-----
Slave Port      Sup time          Corrections(s,ns)
-----
Eth7/10        2010 Mar 11 03:14:55  -1 1210900
Eth7/10        2010 Mar 11 03:14:55  -340978
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ptp brief	PTP のステータスを表示します。
show ptp clock	ローカルクロックのプロパティを表示します。
show ptp clocks foreign-masters-record	PTP プロセスが認識している外部マスターの状態を表示します。
show ptp parent	PTP の親のプロパティを表示します。
show ptp port	PTP ポートのステータスを表示します。
show ptp time-property	PTP クロックのプロパティを表示します。

show ptp parent

高精度時間プロトコル (PTP) クロックの親およびグランドマスターに関する情報を表示するには、**show ptp parent** コマンドを使用します。

show ptp parent

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、PTP クロックの親およびグランドマスターに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ptp parent
Parent Clock:
Parent Clock Identity:  0:18:ba:ff:ff:d8: e:16
Parent Port Number: 1546
Observed Parent Offset (log variance): N/A
Observed Parent Clock Phase Change Rate: N/A

Grandmaster Clock:
Grandmaster Clock Identity:  0:18:ba:ff:ff:d8: e:16
Grandmaster Clock Quality:
    Class: 248
    Accuracy: 254
    Offset (log variance): 65535
    Priority1: 255
    Priority2: 255
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ptp brief	PTP のステータスを表示します。
show ptp clock	ローカル クロックのプロパティを表示します。
show ptp clocks foreign-masters-record	PTP プロセスが認識している外部マスターの状態を表示します。
show ptp corrections	最後の数個の PTP 修正を表示します。
show ptp port	PTP ポートのステータスを表示します。
show ptp time-property	PTP クロックのプロパティを表示します。

show ptp port

高精度時間プロトコル (PTP) ポートに関する情報を表示するには、**show ptp port** コマンドを使用します。

```
show ptp port {interface [ethernet]}
```

構文の説明	interface	インターフェイスを指定します。
	ethernet	(任意) イーサネットインターフェイスを指定します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワークオペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。	

例

次に、PTP ポートに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ptp port
PTP Port Dataset: Eth7/1
Port identity: clock identity: 0:18:ba:ff:ff:d8: e:17
Port identity: port number: 1536
PTP version: 2
Port state: Slave
Delay request interval(log mean): 2
Announce receipt time out: 3
Peer mean path delay: 0
Announce interval(log mean): 1
Sync interval(log mean): 2
Delay Mechanism: End to End
Peer delay request interval(log mean): 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ptp brief	PTP のステータスを表示します。
show ptp clock	ローカル クロックのプロパティを表示します。
show ptp clocks foreign-masters-record	PTP プロセスが認識している外部マスターの状態を表示します。
show ptp corrections	最後の数個の PTP 修正を表示します。
show ptp parent	PTP の親のプロパティを表示します。
show ptp time-property	PTP クロックのプロパティを表示します。

show ptp time-property

高精度時間プロトコル (PTP) クロックのプロパティを表示するには、**show ptp time-property** コマンドを使用します。

show ptp time-property

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、PTP クロックのプロパティを表示する例を示します。

```
switch# show ptp time-property
PTP CLOCK TIME PROPERTY:
  Current UTC Offset valid: 0
  Current UTC Offset: 33
  Leap59: 0
  Leap61: 0
  Time Traceable: 0
  Frequency Traceable: 0
  PTP Timescale: 0
  Time Source: 0xA0(internal Oscillator)
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ptp brief	PTP のステータスを表示します。
show ptp clock	ローカル クロックのプロパティを表示します。
show ptp clocks foreign-masters-record	PTP プロセスが認識している外部マスターの状態を表示します。
show ptp corrections	最後の数個の PTP 修正を表示します。
show ptp parent	PTP の親のプロパティを表示します。
show ptp port	PTP ポートのステータスを表示します。

show redundancy status

冗長性に関する詳細な情報を表示するには、**show redundancy status** コマンドを使用します。

show redundancy status

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、冗長性に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show redundancy status
Redundancy mode
-----
      administrative:  HA
      operational:    None

This supervisor (sup-6)
-----
      Redundancy state:  Active
      Supervisor state:  Active
      Internal state:    Active with no standby

Other supervisor (sup-5)
-----
      Redundancy state:  Not present

      Supervisor state:  N/A
      Internal state:    N/A

System start time:          Fri Aug 15 15:55:19 2008

System uptime:              3 days, 23 hours, 57 minutes, 22 seconds
Kernel uptime:              4 days, 0 hours, 1 minutes, 39 seconds
Active supervisor uptime:   3 days, 23 hours, 57 minutes, 22 seconds
```


show rmon

コンフィギュレーションまたはオンボード ログを表示するには、**show rmon** コマンドを使用します。

```
show rmon {alarms | events | hcalarms | logs | status}
```

構文の説明

alarms	設定済みの 32 ビット RMON アラームを表示します。
events	設定済みの RMON イベントを表示します。
hcalarms	設定済みの 64 ビット High Capacity (HC; 高容量) RMON アラームを表示します。
logs	RMON イベント ログを表示します。
status	RMON 情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、設定済みの RMON アラームを表示する例を示します。

```
switch# show rmon alarms
Alarm 20 is active, owned by test
Monitors 1.3.6.1.2.1.2.2.1.16.30 every 30 second(s)
Taking delta samples, last value was 17
Rising threshold is 15, assigned to event 1
Falling threshold is 0, assigned to event 0
On startup enable rising or falling alarm
```

次に、設定済みの RMON イベントを表示する例を示します。

```
switch# show rmon events
Event 4 is active, owned by administrator@london_op_center
Description is WARNING(4)
Event firing causes log and trap to community public, last fired 03:32:43
```

次に、設定済みの高容量 RMON アラームを表示する例を示します。

```
switch# show rmon hcalarms
```

```
High Capacity Alarm 1 is active, owned by cseSysCPUUtilization.0@test
Monitors 1.3.6.1.4.1.9.9.305.1.1.1.0 every 10 second(s)
Taking absolute samples, last value was 0
Rising threshold is 60, assigned to event 4
Falling threshold is 59, assigned to event 4
On startup enable rising alarm
```

次に、RMON コンフィギュレーションとログ出力情報を表示する例を示します。

```
switch# show rmon status
Maximum allowed 32 bit or 64 bit alarms : 512
Number of 32 bit alarms configured : 0
Number of 64 bit hcalarms configured : 0
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
rmon alarm	32 ビット RMON アラームを設定します。
rmon event	RMON イベントを設定します。
rmon hcalarm	64 ビット RMON アラームを設定します。

show running-config cdp

Cisco Discovery Protocol (CDP) の実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config cdp** コマンドを使用します。

show running-config cdp [all]

構文の説明	all	(任意) 実行コンフィギュレーションとデフォルトを表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。	

例 次に、デフォルトの CDP 実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch(config)# show running-config cdp all
!Command: show running-config cdp all
!Time: Fri Jan 15 22:19:20 2010
```

```
version 5.0(2)
logging level cdp 6
cdp advertise v2
cdp enable
cdp holdtime 180
cdp timer 60
cdp format device-id system-name
```

```
interface Ethernet6/1
  cdp enable
```

```
interface Ethernet6/2
  cdp enable
```

```
interface Ethernet6/3
  cdp enable
```

```
interface Ethernet6/4
```

■ show running-config cdp

```
cdp enable

interface Ethernet6/5
  cdp enable

interface Ethernet6/6
  cdp enable

interface Ethernet6/7
  cdp enable

interface Ethernet6/8
  cdp enable

interface Ethernet7/1
  cdp enable

interface Ethernet7/2
  cdp enable

interface Ethernet7/3
  cdp enable

interface Ethernet7/4
  cdp enable

interface Ethernet7/5
  cdp enable

interface Ethernet7/6
  cdp enable

interface Ethernet7/7
  cdp enable

interface Ethernet7/8
  cdp enable
--More--
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
enable cdp	特定のインターフェイス上で CDP をイネーブルにします。

show running-config diagnostic

実行コンフィギュレーションの診断を表示するには、**show running-config diagnostic** コマンドを使用します。

show running-config diagnostic [all]

構文の説明	all (任意) デフォルトの実行コンフィギュレーションの診断を表示します。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。				
例	次に、実行コンフィギュレーションの診断を表示する例を示します。 <pre>switch(config)# show running-config diagnostic all !Command: show running-config diagnostic all !Time: Fri Jan 15 22:22:01 2010 version 5.0(2) diagnostic bootup level complete switch(config)#</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>show startup-config diagnostic</td> <td>スタートアップ コンフィギュレーションの診断を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	show startup-config diagnostic	スタートアップ コンフィギュレーションの診断を表示します。
コマンド	説明				
show startup-config diagnostic	スタートアップ コンフィギュレーションの診断を表示します。				

show running-config eem

Embedded Event Manager (EEM) の実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config eem** コマンドを使用します。

show running-config eem

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、組み込み型イベント マネージャ (EEM) 実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show running-config eem
switch(config)# show running-config eem

!Command: show running-config eem
!Time: Fri Jan 15 22:23:28 2010

version 5.0(2)

switch(config)#
```

show running-config lldp

グローバルな Link Layer Discovery Protocol (LLDP; リンク層検出プロトコル) の設定を表示するには、**show running-config lldp** コマンドを使用します。

show running-config lldp

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、グローバルな LLDP 設定を表示する例を示します。

```
switch(config)# show running-config lldp

!Command: show running-config lldp
!Time: Mon Jan 11 02:19:29 2010

version 5.0(2)
feature lldp

logging level lldp 5

switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature lldp	LLDP 機能をグローバルにイネーブルにします。

show running-config monitor

システムのイーサネット スイッチド ポート アナライザ (SPAN) の実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config monitor** コマンドを使用します。

show running-config monitor [all]

構文の説明	all (任意) デフォルトの SPAN 実行コンフィギュレーションを表示します。						
デフォルト	なし						
コマンド モード	任意のコマンド モード						
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ						
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。		
リリース	変更内容						
4.0(1)	このコマンドが導入されました。						
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。						
例	<p>次に、システムの SPAN 実行コンフィギュレーションの設定を表示する例を示します。</p> <pre>switch(config)# show running-config monitor !Command: show running-config monitor !Time: Fri Jan 15 22:24:43 2010 version 5.0(2) logging level monitor 6 switch(config)#</pre>						
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>show monitor</td> <td>SPAN の設定に関する情報を表示します。</td> </tr> <tr> <td>show startup-config monitor</td> <td>スタートアップ SPAN コンフィギュレーションに関する情報を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	show monitor	SPAN の設定に関する情報を表示します。	show startup-config monitor	スタートアップ SPAN コンフィギュレーションに関する情報を表示します。
コマンド	説明						
show monitor	SPAN の設定に関する情報を表示します。						
show startup-config monitor	スタートアップ SPAN コンフィギュレーションに関する情報を表示します。						

show running-config netflow

現在使用中のスイッチにおける NetFlow の設定を表示するには、**show running-config netflow** コマンドを使用します。

```
show running-config netflow [all]
```

構文の説明	all (任意) デフォルトの NetFlow の設定を表示します。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(1)</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。				

例

次に、現在使用中のスイッチで実行されている NetFlow の設定を表示する例を示します。

```
switch(config)# show running-config netflow all
!Command: show running-config netflow all
!Time: Fri Jan 15 22:26:04 2010

version 5.0(2)
feature netflow

flow timeout active 1800
flow timeout inactive 15
flow exporter new_flow_1
  transport udp 9995
  dscp 0
  version 5
flow exporter new_flow_2
  transport udp 9995
  dscp 0
  version 9
  template data timeout 1800
flow exporter test
  transport udp 9995
  dscp 0
  version 9
  template data timeout 1800
flow exporter Custom-Flow-Exporter-1
  transport udp 9995
  dscp 0
  version 9
  template data timeout 1800
  option exporter-stats timeout 1200
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show startup-config netflow	スタートアップ NetFlow コンフィギュレーションを表示します。

show running-config ntp

システムで現在実行中のネットワーク タイム プロトコル (NTP) の設定を表示するには、**show running-config ntp** コマンドを使用します。

show running-config ntp [all]

構文の説明	all (任意) NTP の実行コンフィギュレーションをすべて表示します。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。				

例 次に、現在実行されている NTP の設定を表示する例を示します。

```
switch(config)# show running-config ntp

!Command: show running-config ntp
!Time: Fri Jan 15 22:28:34 2010

version 5.0(2)
ntp server 190.0.2.10
ntp server 192.0.2.10 prefer use-vrf RED key 786
ntp peer 2001:db8::4101
ntp authentication-key 3 md5 fewhg 7
ntp authentication-key 34567 md5 qabzk7f 7
ntp logging
ntp access-group peer abcd*123

switch(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ntp source-interface	NTP 送信元インターフェイスに関する情報を表示します。
	show startup-config ntp	スイッチの、スタートアップ NTP コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

show running-config snmp

システムの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config snmp** コマンドを使用します。

show running-config snmp [all]

構文の説明	all (任意) デフォルトの SNMP 実行コンフィギュレーションを表示します。
--------------	--------------------------------------------------

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
----------------------	---------------------------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。
-------------------	-----------------------

例	次に、システムの SNMP 実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。
----------	-----------------------------------------

```
switch(config)# show running-config snmp
!Command: show running-config snmp
!Time: Fri Jan 15 22:30:27 2010

version 5.0(2)
snmp-server user admin network-admin auth md5 0x1dc65f45a9d8e41dbccd76380946d6c3
priv 0x1dc65f45a9d8e41dbccd76380946d6c3 localizedkey

switch(config)#
```

関連コマンド!Com	コマンド	説明
	show startup-config snmp	スタートアップ SNMP コンフィギュレーションを表示します。
	show port-monitor active	アクティブなポート モニタ ポリシーを表示します。

show sampler

NetFlow サンプラを表示するには、**show sampler** コマンドを使用します。

show sampler [**name**] [*sampler-name*]

構文の説明

name	(任意) サンプラを指定します。
<i>sampler-name</i>	(任意) サンプラ名。最大文字数は 32 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

サンプラを作成し、フローの NetFlow サンプリング レートを定義できます。
このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、NetFlow サンプラを表示する例を示します。

```
switch(config)# show sampler
Sampler Netflow-Sampler-1:
  mode 1 out-of 1000
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
sampler	ハードウェア リソースを保持するため、ユーザが選択したパケット率のデータを収集するようサンプラを設定します。

show scheduler

スケジューラ メンテナンス ジョブに関する情報を表示するには、**show scheduler** コマンドを使用します。

```
show scheduler {config | internal [mem-stats] | job [name jobname] | logfile | schedule [name schedulename]}
```

構文の説明

config	スケジューラの構成情報を表示します。
internal	内部スケジューラの情報を指定されたとおりに表示します。
mem-stats	(任意) スケジューラ内部メモリの情報を、指定されたとおりに表示します。
job	ジョブの情報を指定されたとおりに表示します。
name jobname	(任意) 指定されたスケジューラ ジョブ名の情報を表示します。
logfile	スケジューラ ログ ファイルを指定されたとおりに表示します。
schedule	スケジューラ タイムテーブルを指定されたとおりに表示します。
name schedulename	(任意) 指定されたスケジューラ名のスケジューラ タイムテーブルを表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク 管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、スケジューラがイネーブルである必要があります。スケジューラをイネーブルにするには、**feature scheduler** コマンドを使用します。このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、スケジューラ設定を表示する例を示します。

```
switch# show scheduler config
config terminal
  feature scheduler
  scheduler logfile size 16
end

config terminal
```

```

scheduler job name test-1
end

config terminal
scheduler job name test
end

config terminal
scheduler job name test1
end

config terminal
scheduler job name test2
end

switch#

```

次に、指定されたスケジューラ タイムテーブルを表示する例を示します。

```

switch# show scheduler schedule name test
Schedule Name : test
-----
User Name : admin
Schedule Type : Run once on Tue Aug 10 09:48:00 2008
Last Execution Time: Tue Aug 10 09:48:00 2008
-----
Job Name      Status
-----
addMem        Success (0)

```

関連コマンド

コマンド	説明
scheduler	メンテナンス ジョブを設定します。
feature scheduler	メンテナンス ジョブをスケジューリングするスケジューラ機能をイネーブルにします。

show snmp

簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）情報を表示するには、**show snmp** コマンドを使用します。

show snmp

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SNMP 情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp
sys contact:
sys location: anyplace, Anywhere

0 SNMP packets input
  0 Bad SNMP versions
  0 Unknown community name
  0 Illegal operation for community name supplied
  0 Encoding errors
  0 Number of requested variables
  0 Number of altered variables
  0 Get-request PDUs
  0 Get-next PDUs
  0 Set-request PDUs
0 SNMP packets output
  0 Too big errors
  0 No such name errors
  0 Bad values errors
  0 General errors
```

Community	Group / Access
Comm2	network-admin
testCommunity	vdc-operator
com3	vdc-admin

SNMP USERS

User	Auth	Priv(enforce)	Groups
foo	md5	aes-128(no)	network-operator vdc-admin network-admin
User3	md5	no	network-operator
admin	md5	des(no)	network-admin
user1	md5	des(no)	vdc-admin

NOTIFICATION TARGET USERS (configured for sending V3 Inform)

User	Auth	Priv
foo (EngineID 11:22:33:44:55)	md5	no
foo (EngineID 33:0:33:22:33)	sha	no

SNMP Tcp Authentication Flag : Enabled.

関連コマンド

コマンド	説明
<code>snmp-server community</code>	SNMP コミュニティストリングを設定します。

show snmp community

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) コミュニティ ストリングを表示するには、**show snmp community** コマンドを使用します。

show snmp community

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

デバイスに設定されている SNMP コミュニティの一覧を表示するには、**show snmp community** コマンドを使用します。

Cisco NX-OS Release 4.0(2) 以降では、**show snmp-community** コマンドによって、SNMPv2c コミュニティにマッピングされているすべての SNMP コンテキストが表示されます。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SNMP コミュニティ ストリング、および関連するすべての SNMP コンテキストを表示する例を示します。

```
switch# show snmp community
Community                               Group / Access  context
-----                               -
testCommunity                           vdc-operator   contextB
Comm2                                    network-admin
com3                                      vdc-admin
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server community	SNMP コミュニティ ストリングを設定します。
snmp-server mib community-map	SNMP コミュニティ ストリングを SNMP コンテキストにマッピングします。

show snmp context

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) コンテキスト マッピングを表示するには、**show snmp context** コマンドを使用します。

show snmp context

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SNMP コンテキスト マッピングを表示する例を示します。

```
switch# show snmp context
-----
Context                               [Protocol instance, VRF, Topology]
-----
contextB                               instancel,
                                       vrf1,
                                       topol
-----r
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server context	SNMP コンテキスト マッピングを設定します。

show snmp engineID

簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）エンジン ID を表示するには、**show snmp engineID** コマンドを使用します。

show snmp engineID

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SNMP エンジン ID を表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp engineID
Local SNMP engineID: [Hex] 80000009030005300A0B0C
                    [Dec] 128:000:000:009:003:000:005:048:010:011:012
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server user	SNMP ターゲット通知ユーザを設定します。

show snmp group

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) グループを表示するには、**show snmp group** コマンドを使用します。

show snmp group

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SNMP グループを表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp group

role: network-admin
description: Predefined network admin role has access to all commands
on the switch
-----
Rule    Perm    Type    Scope    Entity
-----
1       permit read-write

role: network-operator
description: Predefined network operator role has access to all read
commands on the switch
-----
Rule    Perm    Type    Scope    Entity
-----
1       permit read

role: vdc-admin
description: Predefined vdc admin role has access to all commands within
a VDC instance
-----
Rule    Perm    Type    Scope    Entity
-----
1       permit read-write

role: vdc-operator
description: Predefined vdc operator role has access to all read commands
within a VDC instance
-----
Rule    Perm    Type    Scope    Entity
-----
1       permit read
```

関連コマンド

コマンド	説明
role name	SNMP グループとして使用するセキュリティ ロールを設定します。

show snmp host

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) ホスト通知レシーバを表示するには、**show snmp host** コマンドを使用します。

show snmp host

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SNMP ホストを表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp host
-----
Host                               Port Version  Level  Type  SecName
-----
192.0.2.1                           33   v1       noauth trap  Comm2
-----
192.0.2.2                           162  v3       auth   trap  comm3
-----
Use VRF: Blue
-----
192.0.2.10                           162  v3       auth   trap  testCommunity
-----
Filter VRF: Red
-----
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server host	SNMP ホストを設定します。

show snmp sessions

現在の簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) セッションを表示するには、**show snmp sessions** コマンドを使用します。

show snmp sessions

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SNMP セッションを表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp sessions
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server user	SNMP ユーザを設定します。

show snmp source-interface

通知が送信される簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 送信元インターフェイスを表示するには、**show snmp source-interface** コマンドを使用します。

show snmp source-interface

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、通知が送信される SNMP 送信元インターフェイスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp source-interface
-----
Notification                               source-interface
-----
trap                                         lookback1
inform                                       Ethernet1/1
-----
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server sourceinterface	通知が送信される SNMP 送信元インターフェイスを設定します。

show snmp trap

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知イネーブル ステータスを表示するには、**show snmp trap** コマンドを使用します。

show snmp trap

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、SNMP 通知イネーブル ステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp trap
Trap type                               Enabled
-----
aaa server state-change                 No
callhome                                No
entity fru                              Yes
license                                  Yes
snmp authentication                     No
vrrp                                     No
link                                     No
bridge topologychange                   No
bridge newroot                           No
stpx inconsistency                       No
stpx loop-inconsistency                  No
stpx root-inconsistency                  No
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server trap enable	SNMP 通知をイネーブルにします。

show snmp user

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) ユーザを表示するには、**show snmp user** コマンドを使用します。

```
show snmp user [username [engineID id]]
```

構文の説明

<i>username</i>	(任意) ユーザ名。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
<i>engineID id</i>	(任意) 通知ターゲット ユーザの SNMP エンジン ID を設定します。ID は、コロンで区切られた 11 個の 10 進数値です。

デフォルト

すべてのユーザを表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

■ show snmp user

例

次に、SNMP ユーザを表示する例を示します。

```
switch(config)# show snmp user
```

```

-----
                        SNMP USERS
-----

User                      Auth  Priv(enforce)  Groups
-----
foo                        md5    aes-128(no)    network-operator
                        vdc-admin
                        network-admin
User3
admin                      md5    no              network-operator
user1                      md5    des(no)         network-admin
                        vdc-admin

NOTIFICATION TARGET USERS (configured for sending V3 Inform)
-----

User                      Auth  Priv
-----
foo                        md5    no
(EngineID 11:22:33:44:55)

```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server user	SNMP ユーザを設定します。

show sprom

デバイスのシリアル PROM (SPROM) の内容を表示するには、**show sprom** コマンドを使用します。

```
show sprom {all | backplane bp-number | clock clock-number | cmp | fan fan-number | module slot
| powersupply ps-number | stby-sup | sup | xbar xbar-number}
```

構文の説明

all	物理デバイス上にあるすべてのコンポーネントの SPROM の内容を表示します。
backplane bp-number	バックプレーンの SPROM の内容を表示します。
clock clock-number	クロック モジュールの SPROM の内容を表示します。
cmp	接続管理プロセッサ (CMP) の SPROM の内容を表示します。
fan fan-number	ファンの SPROM の内容を表示します。
module slot	I/O モジュールの SPROM の内容を表示します。
powersupply ps-number	電源モジュールの SPROM の内容を表示します。
stby-sup	スタンバイ スーパーバイザ モジュールの SPROM の内容を表示します。
sup	アクティブなスーパーバイザ モジュールの SPROM の内容を表示します。
xbar xbar-number	ファブリック モジュールの SPROM の内容を表示します。

デフォルト

デバイス上のすべてのプロセスの情報の要約を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

物理デバイス コンポーネント上の SPROM には、シリアル番号、部品番号、リビジョン番号など、ハードウェアに関する詳細な情報が保存されています。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、物理デバイス上のすべてのコンポーネントの SPROM 情報を表示する例を示します。

```
switch# show sprom all
DISPLAY active supervisor sprom contents:
Common block:
Block Signature : 0xabab
Block Version   : 3
Block Length    : 160
Block Checksum  : 0x158a
EEPROM Size     : 65535
Block Count     : 3
FRU Major Type  : 0x6004
FRU Minor Type  : 0x5
OEM String      : Cisco Systems, Inc
Product Number  : N7K-SUP1
Serial Number   : JAB10380101
Part Number     : 73-10877-03
Part Revision   : 09
Mfg Deviation   : 0
H/W Version     : 0.311
Mfg Bits        : 0
Engineer Use    : 0
snmpOID         : 0.0.0.0.0.0.0.0
Power Consump   : -247
RMA Code        : 0-0-0-0
CLEI Code       : TBD
VID             : TBD
...
```

次に、バックプレーンの SPROM 情報を表示する例を示します。

```
switch# show sprom backplane 1
DISPLAY backplane sprom contents:
Common block:
Block Signature : 0xabab
Block Version   : 3
Block Length    : 160
Block Checksum  : 0x147e
EEPROM Size     : 65535
Block Count     : 5
FRU Major Type  : 0x6001
FRU Minor Type  : 0x0
OEM String      : Cisco Systems, Inc.
Product Number  : N7K-C7010
Serial Number   : TBM11256507
Part Number     : 73-10900-04
Part Revision   : 03
Mfg Deviation   :
H/W Version     : 0.403
Mfg Bits        : 0
Engineer Use    : 0
snmpOID         : 0.0.0.0.0.0.0.0
Power Consump   : -247
RMA Code        : 0-0-0-0
CLEI Code       :
VID             :
Chassis specific block:
Block Signature : 0x6001
Block Version   : 3
Block Length    : 39
Block Checksum  : 0x3bf
Feature Bits    : 0x0
HW Changes Bits : 0x0
```



```
Stackmib OID      : 0
MAC Addresses     : 00-18-ba-d8-3f-bc
Number of MACs    : 128
OEM Enterprise    : 9
OEM MIB Offset    : 5
MAX Connector Power: 1
Wwn software-module specific block:
Block Signature   : 0x6005
Block Version     : 1
Block Length      : 0
Block Checksum    : 0x66
wnn usage bits:
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00
00 00
License software-module specific block:
Block Signature   : 0x6006
Block Version     : 1
Block Length      : 16
Block Checksum    : 0x77
lic usage bits:
00 00 00 00 00 00 00 00
Second Serial number specific block:
Block Signature   : 0x6007
Block Version     : 1
Block Length      : 28
Block Checksum    : 0x302
Serial Number     : TBM11256507
```

show startup-config cdp

Cisco Discovery Protocol (CDP) スタートアップ コンフィギュレーションを表示するには、**show startup-config cdp** コマンドを使用します。

show startup-config cdp [all]

構文の説明	all (任意) デフォルトのスタートアップ コンフィギュレーションを表示します。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.1(2)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.1(2)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.1(2)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。				
例	<p>次に、デフォルトの CDP スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。</p> <pre>switch(config)# show startup-config cdp all !Command: show startup-config cdp !Time: Tue Feb 2 22:36:26 2010 version 5.0(2) logging level cdp 6 switch(config)#</pre>				

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show running-config cdp</code>	CDP 実行コンフィギュレーションを表示します。

show startup-config diagnostic

スタートアップ コンフィギュレーションの診断を表示するには、**show startup-config diagnostic** コマンドを使用します。

show startup-config diagnostic [all]

構文の説明	all (任意) デフォルトのスタートアップ コンフィギュレーションを表示します。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。				
例	<p>次に、スタートアップ コンフィギュレーションの診断を表示する例を示します。</p> <pre>switch(config)# show startup-config diagnostic all !Command: show startup-config diagnostic all !Time: Tue Jan 26 22:38:22 2010 !Startup config saved at: Thu Jan 21 08:39:42 2010 version 5.0(2) diagnostic bootup level complete switch(config)#</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>show running-config diagnostic</td> <td>実行コンフィギュレーションの診断を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	show running-config diagnostic	実行コンフィギュレーションの診断を表示します。
コマンド	説明				
show running-config diagnostic	実行コンフィギュレーションの診断を表示します。				

show startup-config cfs

Cisco Fabric Services (CFS) スタートアップ コンフィギュレーションに関する情報を表示するには、**show startup-config cfs** コマンドを使用します。

show startup-config cfs [all]

構文の説明

all (任意) CFS のスタートアップ コンフィギュレーションをすべて表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、CFS スタートアップ コンフィギュレーション表示する例を示します。

```
switch(config)# show startup-config cfs

!Command: show startup-config cfs
!Time: Tue Feb  2 22:40:47 2010
!Startup config saved at: Thu Jan 21 08:39:42 2010

version 5.0(2)
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
cfs distribute	デバイスの CFS 配信をグローバルにイネーブルにします。
show cfs status	CFS 配信ステータスを表示します。

show startup-config eem

組み込み型イベント マネージャ (EEM) のスタートアップ コンフィギュレーションを表示するには、**show startup-config eem** コマンドを使用します。

show startup-config eem

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、Embedded Event Manager (EEM) のスタートアップ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show startup-config eem
!Command: show startup-config eem
!Time: Tue Feb  2 22:41:25 2010
!Startup config saved at: Thu Jan 21 08:39:42 2010

version 5.0(2)
switch#
```

show startup-config monitor

イーサネット スイッチド ポート アナライザ (SPAN) のスタートアップ コンフィギュレーションを表示するには、**show startup-config monitor** コマンドを使用します。

show startup-config monitor

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、イーサネット SPAN のスタートアップ コンフィギュレーションに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show startup-config monitor
!Command: show startup-config monitor
!Time: Tue Feb  2 22:42:07 2010
!Startup config saved at: Thu Jan 21 08:39:42 2010

version 5.0(2)
logging level monitor 6
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show monitor	イーサネット スイッチド ポート アナライザ (SPAN) に関する情報を表示します。
show running-config monitor	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションに表示します。

show startup-config netflow

NetFlow スタートアップ コンフィギュレーションを表示するには、**show startup-config netflow** コマンドを使用します。

show startup-config netflow [all]

構文の説明	all (任意) デフォルトの NetFlow スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。
--------------	-----------------------------------------------------------

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
----------------------	---------------------------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。
-------------------	-----------------------

例	次に、NetFlow スタートアップ コンフィギュレーションを表示する例を示します。
----------	--------------------------------------------

```
switch# show startup-config netflow

!Command: show startup-config monitor
!Time: Tue Feb  2 22:42:07 2010
!Startup config saved at: Thu Jan 21 08:39:42 2010

version 5.0(2)
logging level monitor 6

switch(config)# show startup-config netflow

!Command: show startup-config netflow
!Time: Tue Feb  2 22:43:13 2010
!Startup config saved at: Thu Jan 21 08:39:42 2010

version 5.0(2)
feature netflow

flow exporter new_flow_1
  version 5
flow exporter new_flow_2
  version 9
```



```
flow exporter test
  version 9
flow exporter Custom-Flow-Exporter-1
  version 9
  option exporter-stats timeout 1200

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config netflow	スイッチで現在実行されている NetFlow の設定に関する情報を表示します。

show startup-config ntp

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) のスタートアップ コンフィギュレーションを表示するには、**show startup-config ntp** コマンドを使用します。

show startup-config ntp [all]

構文の説明	all (任意) NTP のスタートアップ コンフィギュレーションをすべて表示します。
--------------	----------------------------------------------------

デフォルト	なし
--------------	----

コマンド モード	任意のコマンド モード
-----------------	-------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
----------------------	---------------------------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。
-------------------	-----------------------

例	次に、NTP スタートアップ コンフィギュレーションを表示する例を示します。
----------	----------------------------------------

```
switch(config)# show startup-config ntp

!Command: show startup-config ntp
!Time: Tue Feb  2 22:45:37 2010
!Startup config saved at: Thu Jan 21 08:39:42 2010

version 5.0(2)
ntp server 192.0.2.10 use-vrf Red
ntp peer 2001:db8::4101
ntp authenticate
ntp authentication-key 42 md5 dJmhwKzd 7
ntp trusted-key 42
ntp logging
ntp access-group peer NT_GLOBAL

switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ntp source-interface	NTP 送信元インターフェイスに関する情報を表示します。
show running-config ntp	スイッチで現在実行されている NTP 設定に関する情報を表示します。

show startup-config snmp

スタートアップ簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) コンフィギュレーションを表示するには、**show startup-config snmp** コマンドを使用します。

show startup-config snmp [all]

構文の説明	all (任意) デフォルトのスタートアップ SNMP コンフィギュレーションを表示します。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.1(2)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.1(2)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.1(2)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。				

例

次に、システムのスタートアップ SNMP コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch(config)# show startup-config snmp

!Command: show startup-config snmp all
!Time: Tue Feb  2 22:46:33 2010
!Startup config saved at: Thu Jan 21 08:39:42 2010

version 5.0(2)
snmp-server aaa-user cache-timeout 3600
snmp-server protocol enable
no snmp-server globalEnforcePriv
snmp-server tcp-session auth
snmp-server user admin network-admin auth md5 0x1dc65f45a9d8e41dbccd76380946d6c3
  priv 0x1dc65f45a9d8e41dbccd76380946d6c3 localizedkey
snmp-server enable traps ospf rate-limit 10 7
snmp-server enable traps ospf foo rate-limit 10 7
no snmp-server enable traps bridge topologychange
no snmp-server enable traps bridge newroot
no snmp-server enable traps stpx inconsistency
no snmp-server enable traps stpx loop-inconsistency
no snmp-server enable traps stpx root-inconsistency

switch(config-port-monitor)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config snmp	SNMP の実行コンフィギュレーションを表示します。
show port-monitor active	アクティブなポート モニタ ポリシーを表示します。

show system cores

コア ファイル名を表示するには、**show system cores** コマンドを使用します。

show system cores

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

すべての機能の情報を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

システム コア ファイル名を設定するには、**system cores** コマンドを使用します。
このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、システム コア ファイルの宛先情報を表示する例を示します。

```
switch# show system cores
Cores are transferred to slot0:
```

関連コマンド

コマンド	説明
system cores	システム コア ファイル名を設定します。

show system error-id

コア ファイルの出力先情報を表示するには、**show system error-id** コマンドを使用します。

```
show system error-id {error-number | list}
```

構文の説明	<i>error-id</i>	エラー番号。有効な範囲は 0x0 ~ 0xffffffff です。
	list	すべてのシステム エラー メッセージについて、簡単な情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール
 ネットワーク管理者
 VDC 管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、エラー メッセージの詳細な情報を表示する例を示します。

```
switch# show system error-id 0x1

Error Facility: (null)
Error Description: not enough memory
```

次に、すべてのエラー メッセージの簡単な情報を表示する例を示します。

```
switch# show system error-id list

Common errors:
0x00000000 (SYSERR_SUCCESS): "success".
0x00000001 (SYSERR_NOMEM): "not enough memory".
0x00000002 (SYSERR_PSS_ERROR): "error while accessing PSS".
0x00000003 (SYSERR_CMI_NO_RESPONSE_PAYLOAD): "no cmi response payload".
0x00000004 (SYSERR_CMI_NULL_RECEIVE_BUF): "null cmi receive buffer".
0x00000005 (SYSERR_MGMT_ERROR): "unknown error".
0x00000006 (SYSERR_MGMT_NO_ENTRY): "entry not present".
0x00000007 (SYSERR_MGMT_NO_OBJECT): "object not present".
...
```

show system memory-status

メモリ ステータス情報を表示するには、**show system memory-status** コマンドを使用します。

show system memory-status

構文の説明 このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト すべての機能の情報を表示します。

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、メモリ ステータス情報を表示する例を示します。

```
switch# show system memory-status
MemStatus: OK
```


show system pss shrink status

最後の永続ストレージ サービス (PSS) 縮小ステータスを表示するには、**show system pss shrink status** コマンドを使用します。

show system pss shrink status

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、最後の PSS 縮小ステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show system pss shrink status
Last pss shrink started on: Tue May 12 08:08:30 2009
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show system pss shrink status details	最後の PSS 縮小ステータスの詳細を表示します。

show system pss shrink status details

最後の Persistent Storage Service (PSS; 永続ストレージサービス) 縮小ステータスの詳細を表示するには、**show system pss shrink status details** コマンドを使用します。

show system pss shrink status details

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、最後の PSS 縮小ステータスの詳細を表示する例を示します。

```
switch(config)# show system pss shrink status details
Last pss shrink started on: Tue May 12 08:08:30 2009

VDC 1:
Service "aaa" in vdc 1: pss shrink completed successfully
Service "cert_enroll" in vdc 1: pss shrink completed successfully
Service "ExceptionLog" in vdc 1: pss shrink completed successfully
Service "psshelper_gsvc" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "platform" in vdc 1: pss shrink completed successfully
Service "R2D2_usd" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "radius" in vdc 1: pss shrink completed successfully
Service "securityd" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "tacacs" in vdc 1: pss shrink completed successfully
Service "eigrp" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "isis" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "isis_dce" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "isis_otv" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "ospf" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "ospfv3" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "rip" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "eigrp" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "isis" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "isis_dce" in vdc 1: pss shrink request not sent
```

```

Service "ospf" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "ospfv3" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "rip" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "eigrp" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "isis" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "isis_dce" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "ospf" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "ospfv3" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "rip" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "eigrp" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "isis" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "isis_dce" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "ospf" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "ospfv3" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "rip" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "acllog" in vdc 1: pss shrink completed successfully
Service "aclmgr" in vdc 1: pss shrink completed successfully
Service "adjmgr" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "amt" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "arbiter" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "arp" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "ascii-cfg" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "babycaesar" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "bgp" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "bios_daemon" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "bootup_test" in vdc 1: pss shrink request not sent
Service "bootvar" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "callhome" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "capability" in vdc 1: pss shrink completed successfully
Service "cardclient" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "cdp" in vdc 1: pss shrink completed successfully
Service "cfs" in vdc 1: pss shrink completed successfully
Service "clis" in vdc 1: pss shrink not needed (defaultcb invoked)
Service "cmpproxy" in vdc 1: pss shrink completed successfully
Service "confcheck" in vdc 1: pss shrink completed successfully
--More--

```

関連コマンド

コマンド	説明
show system pss shrink status	最後の PSS 縮小ステータスを表示します。

show system reset-reason

デバイス上の各モジュールのリセット理由履歴を表示するには、**show system reset-reason** コマンドを使用します。

show system reset-reason [**module slot** | **xbar xbar-number**]

構文の説明	module slot	(任意) I/O モジュールまたはスーパーバイザ モジュールの再起動理由を表示します。
	xbar xbar-number	(任意) ファブリック モジュールの再起動理由を表示します。

デフォルト スーパーバイザ モジュールのリセット理由を表示します。

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドはデフォルトの仮想デバイス コンテキスト (VDC) 内でのみ使用できます。このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、スーパーバイザ モジュールのリセット理由履歴を表示する例を示します。

```
switch# show system reset-reason
----- reset reason for Supervisor-module 6 (from Supervisor in slot 6) ---
1) At 11151 usecs after Fri May 30 14:40:50 2008
   Reason: Reset Requested by CLI command reload
   Service:
   Version: 4.0(2)
2) At 171083 usecs after Wed May 28 11:40:49 2008
   Reason: Reset Requested by CLI command reload
   Service:
   Version: 4.0(2)
----- reset reason for Supervisor-module 5 (from Supervisor in slot 6) ---
1) No time
   Reason: Unknown
   Service:
   Version:
2) No time
   Reason: Unknown
   Service:
   Version:
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear system reset-reason</code>	デバイスのリセット理由履歴をクリアします。

show system redundancy

システムの冗長性ステータスを表示するには、**show system redundancy** コマンドを使用します。

show system redundancy [ha] status

構文の説明	ha (任意) 仮想デバイス コンテキスト (VDC) 冗長ステータスを表示します。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次の例では、システム冗長性を表示する方法を示します。

```
switch# show system redundancy status
Redundancy mode
-----
      administrative:  HA
      operational:    None

This supervisor (sup-1)
-----
      Redundancy state:  Active
      Supervisor state:  Active
      Internal state:    Active with no standby

Other supervisor (sup-2)
-----
      Redundancy state:  Not present
switch#
```

次に、仮想デバイス コンテキスト (VDC) の冗長性ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show system redundancy ha status
VDC No      This supervisor                Other supervisor
-----
vdc 1      Active with no standby           N/A
vdc 2      Active with no standby           N/A
```

```
vdc 3    Active with no standby    N/A
vdc 4    N/A                       N/A
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
system switchover	スタンバイ スーパーバイザに切り替えます。

show system resources

システム リソースを表示するには、**show system resources** コマンドを使用します。

show system resources

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、システム リソースを表示する例を示します。

```
switch(config)# show system resources
Load average:  1 minute: 0.00  5 minutes: 0.00  15 minutes: 0.0
Processes   :  520 total, 1 running
CPU states  :  0.0% user,  0.5% kernel,  99.5% idle
Memory usage: 4135616K total, 1642556K used, 2493060K free
              1188K buffers,  731988K cache
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show processes cpu	デバイスのプロセスに対する CPU 使用率の情報を表示します。

show system standby manual-boot

システム スタンバイの手動ブート オプションのステータスを表示するには、**show system standby manual-boot** コマンドを使用します。

show system standby manual-boot

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、システム スタンバイの手動ブート オプションのステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show system standby manual-boot
system standby manual-boot option is enabled
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
system hap-reset	スーパーバイザ リセット HA ポリシーをイネーブルにします。

show system uptime

前回のシステム アップロードからの経過時間を表示するには、**show system uptime** コマンドを使用します。

show system uptime

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

すべての機能の情報を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、前回のシステム リロードからの経過時間を表示する例を示します。

```
switch# show system uptime
System start time:      Fri May 30 14:46:25 2008
System uptime:         16 days, 23 hours, 9 minutes, 22 seconds
Kernel uptime:        16 days, 23 hours, 13 minutes, 29 seconds
Active supervisor uptime: 16 days, 23 hours, 9 minutes, 22 seconds
```

show tech-support ascii-cfg

チェックポイント機能に関する詳細な情報を表示するには、**show tech-support ascii-cfg** コマンドを使用します。

show tech-support ascii-cfg

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、チェックポイント機能に関する詳細な情報を表示する例を示します。

```
switch# show tech-support ascii-cfg
`show checkpoint summary`
-----
Name                UserName                Created at
-----
stable              admin                  Tue May 27 13:19:24 2008
`show checkpoint`
-----
Name: stable
version 4.0(2)
power redundancy-mode combined force
license grace-period
feature vrrp
feature tacacs+
feature ospf
feature pim
feature pim6
feature msdp
feature eigrp
feature rip
feature isis
feature pbr
```

関連コマンド

コマンド	説明
show checkpoint	チェックポイント ファイルの内容を表示します。

show tech-support cfs

テクニカル サポートに必要な Cisco Fabric Services (CFS) の設定に関する情報を表示するには **show tech-support cfs** コマンドを使用します。

```
show tech-support cfs {commands} | [name application_name {commands}]}
```

構文の説明

commands	CFS の問題についてテクニカルサポートと解決を試みる際に使用する、すべての関連する CFS コマンドを表示します。
name <i>application_name</i>	(任意) 特定のアプリケーションに関する問題を解決する際にテクニカルサポートが必要とする CFS 設定情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、テクニカルサポートが必要とする CFS 設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show tech-support cfs
`show cfs application`

-----
Application      Enabled   Scope
-----
ntp              No       Physical-fc-ip
stp              Yes      Physical-eth
vpc              Yes      Physical-eth
igmp             Yes      Physical-eth
l2fm             Yes      Physical-eth
role             No       Physical-fc-ip
radius           No       Physical-fc-ip
callhome        Yes      Physical-fc-ip

Total number of entries = 8

`show cfs lock`
`show cfs peers`
```

```

Physical Fabric
-----
Switch WWN          IP Address
-----
20:00:00:22:55:79:a4:c1 172.28.230.85          [Local]
                        switch

Total number of entries = 1

`show cfs status`
Distribution : Enabled
Distribution over IP : Enabled - mode IPv4
IPv4 multicast address : 239.255.70.83
IPv6 multicast address : ff15::efff:4653
Distribution over Ethernet : Disabled`show cfs internal event-history errors`
Mon Dec 22 12:24:42 2008 :
Sending over network failed, retval ffffffff, errno 113 [No route to host]
Msg ID: [6e:00:00:00:c0:e0:ff:bf:0:1]
vsan: 4097, IP addr: 0.0.0.0

Total number of entries = 8

```

関連コマンド

コマンド	説明
show application_name session status	アプリケーションの CFS コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。これには、最後のアクション、結果、および障害がある場合はその理由が含まれます。
show cfs internal	メモリの統計情報、イベント履歴など、CFS 内部の情報を表示します。
show cfs lock	アクティブ CFS ファブリック ロックを表示します。
show cfs merge status name	特定の CFS アプリケーションの結合ステータスを表示します。
show cfs peers	物理ファブリック内の、すべての CFS ピアを表示します。
show cfs regions	ピアおよびリージョン情報を持つすべての CFS アプリケーションを表示します。
show cfs static	すべての CFS スタティック ピアをそのステータスとともに表示します。
show cfs status	デバイスでの CFS 配信のステータスと IP 配信情報を表示します。

show tech-support session-mgr

コンフィギュレーションセッションを制御するセッションマネージャに関する詳細な情報を表示するには、**show tech-support session-mgr** コマンドを使用します。

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワークオペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

トラブルシューティングのためにセッションマネージャに関する情報を収集するには、**show tech-support session-mgr** コマンドを使用します。このコマンドは、セッションマネージャに関する詳細な情報を表示します。このコマンドの出力はファイルに保存しておき、セッションマネージャに関するサポート要請の際に添付する必要があります。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、**show tech-support session-mgr** コマンドの出力をファイルに保存する例を示します。

```
switch# show tech-support session-mgr > bootflash:output
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration session	コンフィギュレーションセッションに関する情報を表示します。

show tech-support snmp

簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）に関する詳細な技術サポート情報を表示するには、**show tech-support snmp** コマンドを使用します。

show tech-support snmp

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

トラブルシューティングのために SNMP に関する情報を収集するには、**show tech-support snmp** コマンドを使用します。このコマンドは、SNMP に関する詳細な情報を表示します。このコマンドの出力はファイルに保存しておき、SNMP に関するサポート要請の際に添付する必要があります。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、**show tech-support snmp** コマンドの出力をファイルに保存する例を示します。

```
switch# show tech-support snmp > bootflash:output
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server community	SNMP コミュニティ ストリングを設定します。

show xml server status

XML サーバのステータスに関する情報を表示するには、**show xml server status** コマンドを使用します。

show xml server status

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、XML サーバのステータスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show xml server status
operational status is enabled
  maximum session configured is 8
switch(config)#
```

